

# インストールガイド

---

***Space-E/***

***Modeler***

**Version 5.3**

***Mold***

**Version 5.3**

***CAM***

**Version 5.3**

***CAM Hybrid2D***

**Version 5.3**

---

ACIS® は、Spatial CorporationによってUS Patent and Trade Mark Office（米国特許庁）に商標登録されています。

DXF/DWGは、米オートデスク社の登録商標です。

Contains Autodesk® RealDWG by Autodesk, Inc.,

Copyright © 1998-2014 Autodesk, Inc., All rights reserved.

Windows NT®, Windows® 2000、Windows® XP、Windows® Vista、Windows® 7、Windows® 8またその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他の製品および会社名等は、各社の商標または登録商標です。

#### ■ ご注意

- ・ 本書の内容及びソフトウェアは、予告無しに変更されることがあります。
- ・ 本書の内容は細心の注意をもって作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの点がございましたら、弊社または販売代理店までご連絡ください。
- ・ 本書に記述するソフトウェアを運用した結果発生する損害につきましては、本書の記述およびソフトウェアの不備にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・ 本書および本書に記載するソフトウェアは、著作権法上の保護を受けています。
- ・ 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズに対し文書の承認を得ずに、無断で本書およびソフトウェアの一部あるいは全部について、複写および複製することは禁じられています。

# 目 次

---

---

ハードウェア環境.....	1
グラフィックボードの設定.....	2
インストール前に….....	4
Space-E のインストール.....	5
ライセンスの登録について.....	28
Space-E/CAM の起動と終了.....	47
図面化コマンドの起動と終了.....	49
Space-E/IGES の起動と終了.....	50
付録 1) Space-E のアンインストール.....	57
付録 2) Space-E シリーズを Windows XP ServicePack 3 以降で動作させる際の注意点.....	60
付録 3) Space-E を Windows 7 にインストールする際の注意点.....	64
付録 4) Space-E/Modeler が Space-E/Draw より先に インストールされた際の対策.....	65

## ハードウェア環境

Space-Eを実行するために必要なシステム環境を下記に示します。

### ●推奨ハードウェア環境

OS環境	Windows XP Professional ServicePack3以降 <sup>※1)</sup> (32ビット)	Windows 7 Professional <sup>※2)</sup> ServicePack1以降 (32ビット、64ビット)	Windows 8 Professional (64ビット) Windows 8.1 Professional (64ビット)
対応機種	Pentium4 1.5GHz以上 (推奨 Pentium4 2.0GHz 以上)	Core 2以上 (64ビット OSの場合は64ビット OSに対応したCPUが必要です)	Core 2以上
メモリ	512Mbytes以上 (推奨 1Gbyte以上)	2Gbyte以上 (推奨 32ビット: 2Gbyte、64ビッ ト: 3Gbyte以上)	2Gbyte以上 (推奨 3Gbyte以上)
ディスク容量 (スワップ)	システム1Gbytes以上 <sup>※3)</sup> ページファイル1Gbytes以上		
その他	OpenGLボード 1280×1024 65535色以上 3ボタンマウスまたはホイールマウス ネットワークボード Internet Explorer 7.0以上		

※1) 3GBスイッチを付けた状態での動作確認はしておりません。

※2) インストール前にWindows 7固有の設定が必要です。  
詳細については、『付録3 Space-EをWindows 7にインストールする際の注意点』(64ページ)を参照  
ください。

※3) ディスク容量  
Space-Eのインストール時のディスク容量(内訳)は以下のようになります。

Space-E/Modeler	: 32ビット:1.07Gbytes <sup>※4)</sup> 64ビット:1.13Gbytes
Space-E/CAM	: 32ビット:1.06Gbytes <sup>※5)</sup> 64ビット:1.14Gbytes
Space-E/Hybrid2D	: 32ビット:1.14Gbytes <sup>※6)</sup> 64ビット:1.24Gbytes

※4) Space-E/Modeler は、IGES、CUBE-Space-E Direct Translator、Space-E/DXF、Space-E/Mold を  
含みます。

※5) Space-E/CAM は、SolidCAM、EPX オプション、5Axis、ExtendPost を含みます。

※6) Space-E/CAM Hybrid2D は、SolidCAM、EPX オプション、5Axis、ExtendPost を含みます。

※ Space-E/Modeler Ver.5.3、Space-E/CAM Ver.5.3、Space-E/CAM Hybrid2D Ver.5.3 は Windows NT  
の環境にて動作しません。

※ Space-E/Modeler Ver.5.3、Space-E/CAM Ver.5.3、Space-E/CAM Hybrid2D Ver.5.3 は Windows  
2000 環境にて動作しません。

※ Space-E/Modeler Ver.5.3、Space-E/CAM Ver.5.3、Space-E/CAM Hybrid2D Ver.5.3 は Windows Vista  
での動作保証は行っていません。

## グラフィックボードの設定

Space-E Ver.5.3動作確認済みボードとドライバ設定は以下の通りです。  
OS環境、マシンメーカーによってドライバが異なりますので、ご注意ください。

### ●Windows XP(32ビット)

マシンメーカー	ボード	ドライババージョン	ドライバ&Space-Eの設定
hp	nVIDIA Quadro FX1800	306.79	下のURLからドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 <a href="http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-winxp-x32-306.79-whql-driver-jp.html">http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-winxp-x32-306.79-whql-driver-jp.html</a>
	nVIDIA Quadro 2000		
NEC	nVIDIA Quadro FX1800		
	nVIDIA Quadro 2000		

(2014/04/25 現在)

### ●Windows 7(32ビット)

マシンメーカー	ボード	ドライババージョン	ドライバ&Space-Eの設定
hp	nVIDIA Quadro FX1800	306.79	下のURLからドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 <a href="http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-wi-n7-winvista-32bit-306.79-whql-driver-jp.html">http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-wi-n7-winvista-32bit-306.79-whql-driver-jp.html</a>
	nVIDIA Quadro K600		
	nVIDIA Quadro 2000		
	nVIDIA Quadro K2000		

(2014/04/25 現在)

### ●Windows 7(64ビット)

マシンメーカー	ボード	ドライババージョン	ドライバ&Space-Eの設定
hp	nVIDIA Quadro FX1800	306.79	下のURLからドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 <a href="http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-wi-n7-winvista-64bit-306.79-whql-driver-jp.html">http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-wi-n7-winvista-64bit-306.79-whql-driver-jp.html</a>
	nVIDIA Quadro K600		
	nVIDIA Quadro 2000		
	nVIDIA Quadro K2000		

(2014/04/25 現在)

### ●Windows 8(64ビット)

マシンメーカー	ボード	ドライババージョン	ドライバ&Space-Eの設定
hp	nVIDIA Quadro FX1800	306.79	下のURLからドライバをダウンロード、およびインストールしてください。また[ドライバの設定方法]に従って設定を変更してください。 <a href="http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-wi-n7-winvista-64bit-306.79-whql-driver-jp.html">http://www.nvidia.co.jp/object/quadro-tesla-win8-wi-n7-winvista-64bit-306.79-whql-driver-jp.html</a>
	nVIDIA Quadro K600		
	nVIDIA Quadro 2000		
	nVIDIA Quadro K2000		

(2014/04/25 現在)

上記のURLでダウンロードできなかった場合は、下のURLからドライバを検索してダウンロードしてください。

<http://www.nvidia.co.jp/Download/Find.aspx?lang=jp>

## ドライバの設定方法

### 手順

1. デスクトップ上で右クリックし、「NVIDIAコントロールパネル」を選択します。
2. NVIDIAコントロールパネルビューの選択パネルの[詳細設定]を選択します。(初回のみ表示されます。)
3. NVIDIAコントロールパネルが表示されます。プルダウンメニューの[ヘルプ] - [システム情報]で確認を行ないます。  
[ドライバーのバージョン]でドライバのバージョンを確認することができます。  
指定のバージョンであることを確認してください。
4. NVIDIAコントロールパネル左側のメニューから[3D設定/3D設定の管理]をクリックします。
5. [グローバル設定]タグのグローバルプリセットに[ベースプロファイル]を選択します。
6. [プログラム設定]タグの[1.カスタマイズするプログラムを選択する(s)]に[CST Microwave Studio (modeler.exe)]を選択します。
7. Modeler.exe設定の[オーバーレイを有効にします]を選択し、[オン]に設定します。
8. [適用]ボタンをクリックします。
9. NVIDIAコントロールパネルの[ファイル/終了]で終了します。

---

## インストール前に…

---

Windows 7にSpace-Eをインストールする場合は、インストール前に必ず『付録3 Space-EをWindows 7にインストールする際の注意点』(64ページ)に記載された設定を行ってください。

Space-Eをインストールする前に、次の内容を確認してください。

- ◆ Windows XPの場合、Windows XP Professional ServicePack3がインストールされていますか。
- ◆ Windows 7の場合、Windows 7 Professional ServicePack1がインストールされていますか。
- ◆ ネットワークボードが装備されていますか。
- ◆ 「ネットワーク」→「プロトコル」にTCP/IPプロトコルがインストールされ、その「プロパティ」でIPアドレスが設定されていますか。
- ◆ Space-E/Drawを使用する場合は、Space-E/Drawをインストールしてから、Space-E/Modelerをインストールしてください。
- ◆ Space-Eの旧バージョン※1)をお使いでしたか。新バージョンは、旧バージョンを上書きします。必要なファイル等は、新バージョンをインストールする前に別のフォルダ等に移動してください。旧バージョンを使用していた場合、新バージョンのインストールが通常と異なります。

※1) 旧バージョンとは、次のバージョンを指します。

Space-Eのバージョン：1.0、2.0、2.1、2.11、2.2、2.21、2.3、3.0、3.01、3.1、3.2、4.0、4.1、4.2、4.3、4.4、4.5、4.6、4.7、4.8、4.9、5.0、5.1、5.2、5.2.2

Space-E/SolidCAMのバージョン：1.0、1.1、1.2、1.21、1.3、1.4、1.5、1.6、1.7、1.8、1.9、1.10、1.11、1.12、1.13、1.14、1.15、5.2、5.2.2

また新バージョンとは、Space-E Ver.5.3、Space-E/SolidCAM Ver.5.3を指します。

## Space-Eのインストール

Space-E を新規にインストールする場合と、すでに Space-E を使用している PC にインストールする場合、または Space-E/Draw を使用している PC にインストールする場合とは、インストール時にそれぞれ注意が必要です。PC のインストール状況をご確認の上、以下の注意事項に従って、インストールを行ってください。

また、Space-E 旧バージョンを使用している場合、旧バージョンがインストールされているドライブ (¥HZZ¥Modeler フォルダのあるドライブ)を確認してください。新バージョンをインストールするドライブを指定する際(9 ページ)、必ず旧バージョンがインストールされていたドライブを指定してください。

Space-E/Mold は、Space-E/Modeler に統合されました。Space-E/Mold を使用している場合は、Space-E/Modeler の記載内容に従ってインストールしてください。

以下の注意点を必ず確認してください。正常に動作しなくなる場合があります。

### ◆ 新規にインストールする場合

7 ページへ

### ◆ Space-E/Mold ( Ver.5.2.2 以前 ) がインストールされている場合

- ・ 特殊部品のモデルファイルのバックアップ  
(インストール先ドライブの¥HZZ¥Mold¥PartsLibDB\_POOL¥Special フォルダのバックアップを作成してください。このフォルダ内の sat ファイルを新バージョンで使用する事が可能です。)

### ◆ Space-E Ver.4.7~ Ver.5.2.2 がインストールされている場合 12 ページへ

### ◆ Space-E 旧バージョン(Ver.4.6 以前)がインストールされている場合

Space-E 新バージョンは、旧バージョンに上書きします。新バージョンをインストールする前に以下の点を確認してください。

- ・ 必要なファイルは、別のフォルダに移動させておいてください。(以下を参照)

#### 【Modeler】

1. ¥HZZ¥Modeler¥run\_field 以下に保存したモデル
2. ¥HZZ¥Modeler¥config¥ja\_JP.mscode¥catalog 以下に追加したモデルファイル
3. ¥HZZ¥Modeler¥config¥ja\_JP.mscode¥template アレンジの図面枠モデル
4. ¥HZZ¥Modeler¥plot以下の\*.dll、\*.exe、\*.sv以外のファイル
5. ¥HZZ¥Modeler¥config¥ja\_JP.mscode¥profile¥[使用プロファイル]以下のautobackup、right\_shortcut、shortcuts

#### 【CAM】

1. ¥HZZ¥proj以下の加工工程
2. ポスト (\*.xmp) ファイル (¥HZZ¥cam¥config)
3. 各種パレット  
工具パレット(¥HZZ¥cam¥tool)  
ホルダパレット(¥HZZ¥cam¥hldr)  
機能パレット(¥HZZ¥cam¥func)  
工程パレット(¥HZZ¥cam¥proc)
4. CamWebテンプレート (¥HZZ¥Cam¥plugin¥CamWeb¥template)
5. テンプレートファイル(¥HZZ¥cam¥template)

※¥HZZ以下にファイルを置いていない場合はバックアップ不要

- CLスケジューラを終了してください。
- *Space-E* 旧バージョンをアンインストールしてください (57ページ参照)。アンインストールするコンポーネントは、以下の通りです。

◆ **Space-E Ver. 4.6をアンインストールする場合**

Modeler  
CAM  
IGES  
DXF  
CUBE-Space-E Direct Translator

◆ **Space-E Ver. 2.3以前のバージョンをアンインストールする場合**

Modeler  
CAM  
IGES  
DXF  
CUBE-Space-E Direct Translator  
Exceed6113

- ※ アンインストール後、エクスプローラでExceed6113フォルダ (~~#HZZ~~Exceed6113) を削除してください。

旧バージョンアンインストール後は必ず再起動して、インストールを始めてください。7 ページへ

◆ **Space-E/Draw または、Space-E/Draw と Space-E 旧バージョンがインストールされている場合**

*Space-E* 新バージョンは、旧バージョンに上書きします。

*Space-E/Draw*と*Space-E* 旧バージョンがインストールされている場合には、新バージョンをインストールする前に以下の点を確認してください。

- 必要なファイルは、別のフォルダに移動させておいてください。(前述*Space-E* 旧バージョンがインストールされている場合を参照ください。)
- CLスケジューラを終了してください。
- *Space-E* 旧バージョンをアンインストールしてください (57ページ参照)。アンインストールするコンポーネントは、以下の通りです。

◆ **Space-E 旧バージョンがインストールされており、かつ、Space-E/Draw Ver. 1.21以前のバージョンをご使用の場合**

Modeler  
CAM  
IGES  
DXF  
CUBE-Space-E Direct Translator

- ※ Exceed、Exceed6113は絶対にアンインストールしないでください。*Space-E/Draw*が動作しなくなります。

◆ **Space-E 旧バージョンがインストールされており、かつ、Space-E/Draw Ver. 1.3以降のバージョンをご使用の場合**

Modeler  
CAM  
IGES  
DXF  
CUBE-Space-E Direct Translator  
Exceed6113

- ※ *Space-E* Ver.2.3以前のバージョンまたは*Space-E/Draw* Ver.1.2以前のバージョンをご使用の場合に、アンインストールのコンポーネントExceed6113があります。

- ※ アンインストール後、エクスプローラでExceed6113フォルダ (~~#HZZ~~Exceed6113) を削除してください。

旧バージョンアンインストール後は必ず再起動して、インストールを始めてください。7 ページへ

## Space-E のインストール（新規）

- 必ずAdministratorまたはAdmin権限を持つユーザでログオンしてください。
- DVD-ROMドライブにDVDをセットすると、自動的にインストーラが起動します。インストーラの「Modeler/CAMインストール」をクリックするとインストールが開始されます。



インストーラが起動しない場合は、DVD-ROM内のsetup.exeを実行してください。

setup.exeの場所

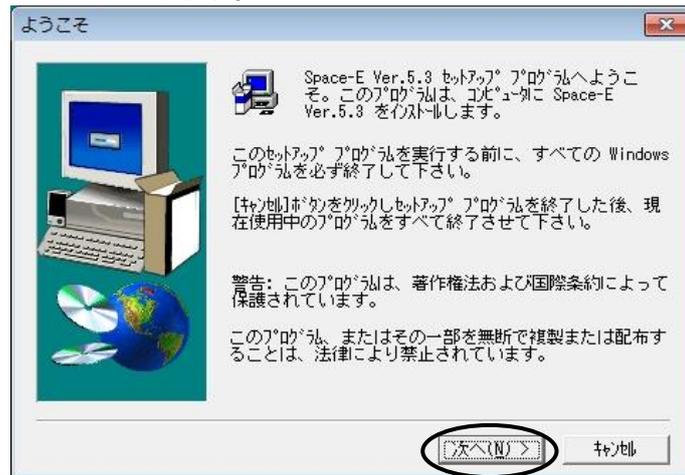
32ビット : ModelerCAM32¥Disk1¥setup.exe

64ビット : ModelerCAM64¥Disk1¥setup.exe

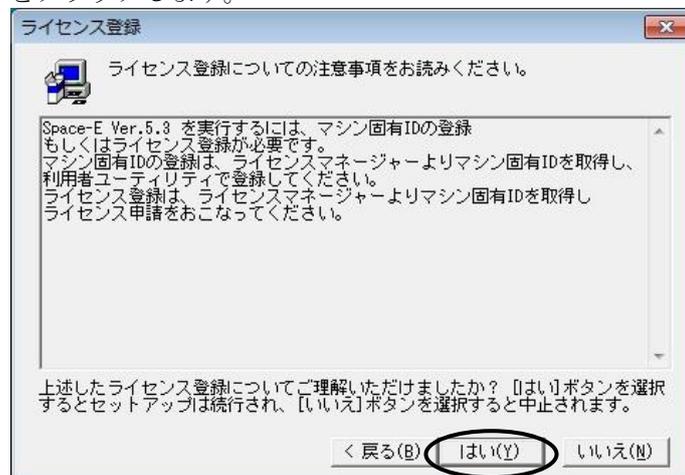
ウィザードが起動します。



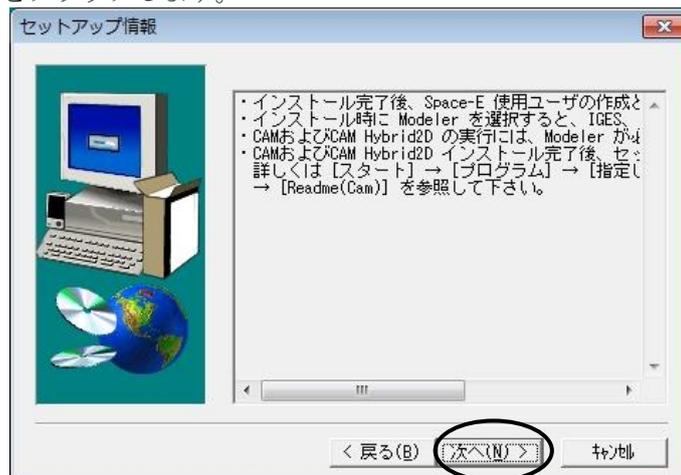
「次へ」ボタンをクリックします。



・ 「はい」ボタンをクリックします。



・ 「次へ」ボタンをクリックします。



- ・ インストールするドライブ名を入力します。
  - ・ 標準ではCドライブにインストールされます。他のドライブ、例えばDドライブへインストールする場合は「D:¥」と入力し、「次へ」ボタンをクリックします。
- Space-E 旧バージョンを使用していた場合は、必ず旧バージョンがインストールされていたドライブを指定してください。



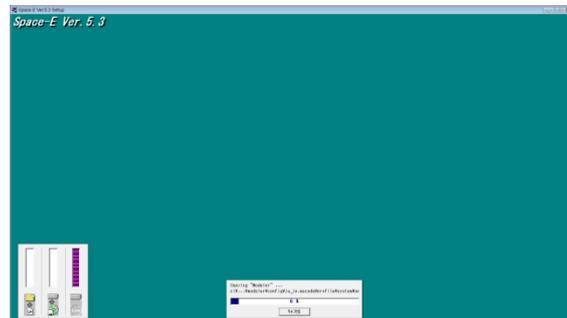
- ・ インストールするコンポーネントを選択します。
- ・ Space-E/Modelerをインストールする場合は「Modeler」をチェックします。Space-E/CAMまたはSpace-E/SolidCAM、Space-E/CAMとソリッド自動加工（オプション）をインストールする場合は「CAM」をチェックします。
- ・ Space-E/CAM Hybrid2Dをインストールする場合は「CAM Hybrid2D」をチェックします。
- ・ 「次へ」ボタンをクリックします。
- ・ 「Modeler」をチェックすると、IGES、CUBE-Space-E Direct Translator、Space-E/DXFも自動的にインストールされます。



- ・ 「次へ」 ボタンをクリックします。



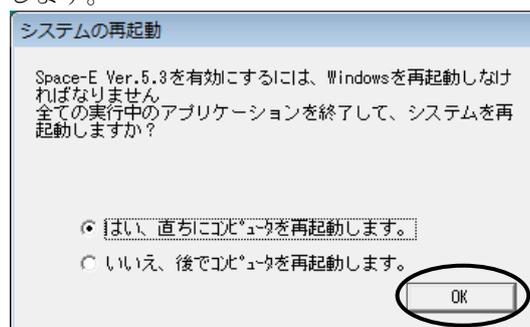
- ・ しばらく待ちます。



- ・ 「完了」 ボタンをクリックします。

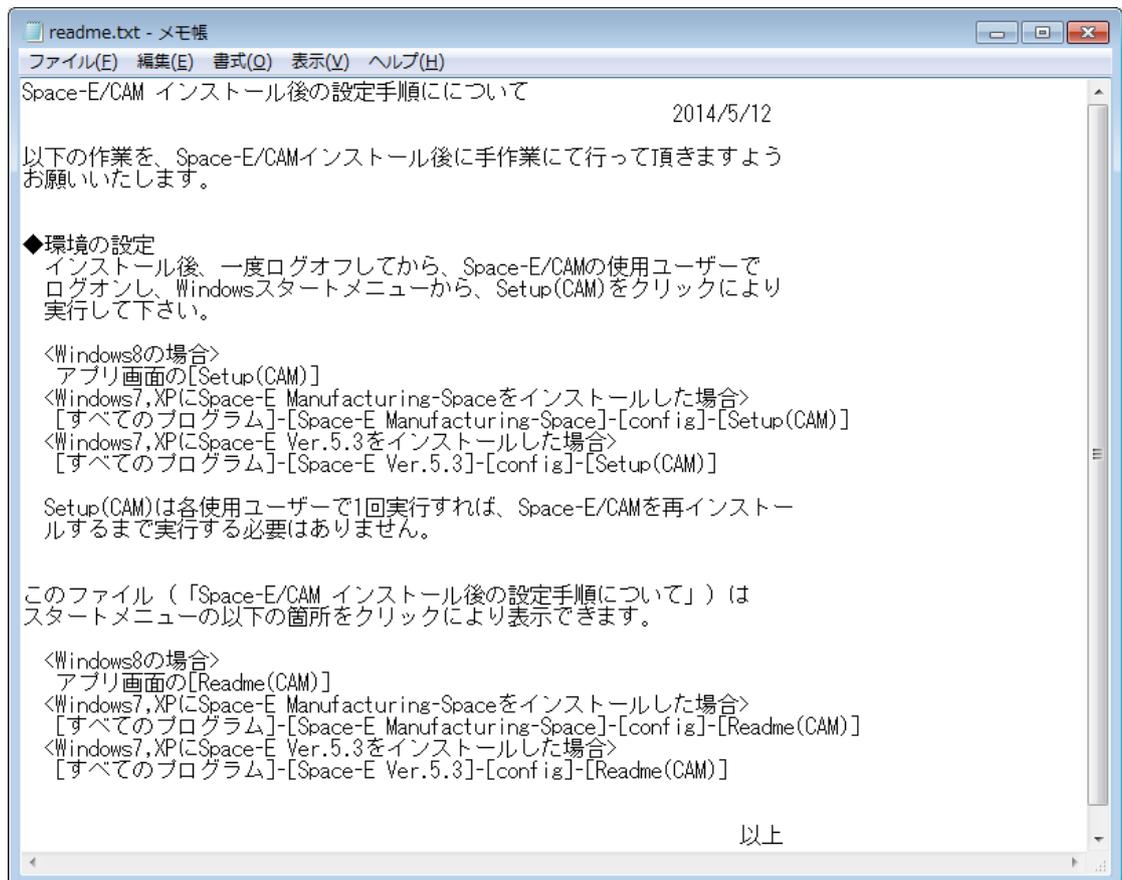


- ・ PCを再起動します。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「OK」をクリックします。



これでSpace-Eのインストールは終了しました。

- 【注意】** *Space-E/CAM*、*Space-E/CAM Hybrid2D*インストール後、次のように表示される*Readme*を参照してセットアップを行ってください。  
*Readme*は、スタートメニューの[スタート]－[プログラム]－[指定したフォルダ]（通常は、[Space-E Ver.5.3]－[Config]－[Readme(CAM)]) から表示できます。



## ●Space-Eのインストール（バージョンアップ）

- ・必ずAdministratorまたはAdmin権限を持つユーザでログオンしてください。
- ・DVD-ROMドライブにDVDをセットすると、自動的にインストーラが起動します。インストーラの『Modeler/CAMインストール』をクリックするとインストールが開始されます。



インストーラが起動しない場合は、DVD-ROM内のsetup.exeを実行してください。  
setup.exeの場所

- 32ビット：ModelerCAM32¥Disk1¥setup.exe
- 64ビット：ModelerCAM64¥Disk1¥setup.exe

- ・CLスケジューラを終了してください。

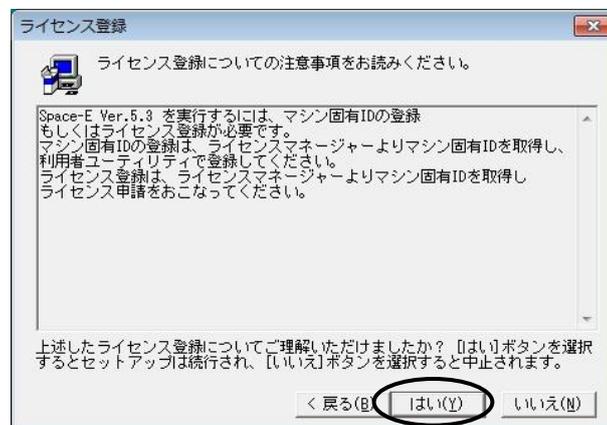
1. ウィザードが起動します。



2. 「次へ」ボタンをクリックします。



3. 「はい」ボタンをクリックします。



4. 「次へ」ボタンをクリックします。



5. インストールするコンポーネントを選択します。

- *Space-E/Modeler*をインストールする場合は「**Modeler**」をチェックします。*Space-E/CAM*または*Space-E/SolidCAM*、*Space-E/CAM*とソリッド自動加工（オプション）をインストールする場合は「**CAM**」をチェックします。
- *Space-E/CAM Hybrid2D*をインストールする場合は「**CAM Hybrid2D**」をチェックします。
- 「**次へ**」ボタンをクリックします。
- 「**Modeler**」をチェックすると、*IGES*、*CUBE-Space-E Direct Translator*、*Space-E/DXF*も自動的にインストールされます。



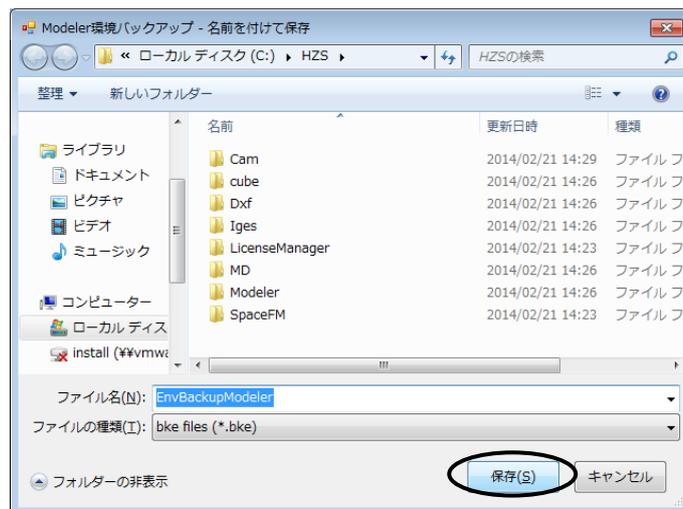
6. 「**次へ**」ボタンをクリックします。



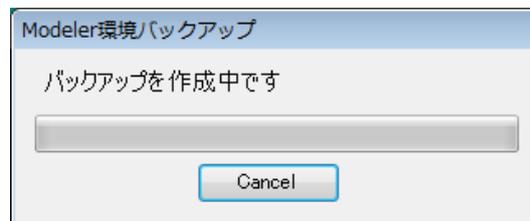
7. これまでの環境をバックアップするかどうかの確認を行います。バックアップするなら「**はい**」ボタンを、しないのであれば「**いいえ**」ボタンをクリックします。「**いいえ**」ボタンをクリックした場合、手順11まで進みます。



8. バックアップファイルの名前を決定し、「保存」ボタンをクリックします。



9. しばらく待ちます。



10. 「OK」ボタンをクリックします



11. 「OK」ボタンをクリックします

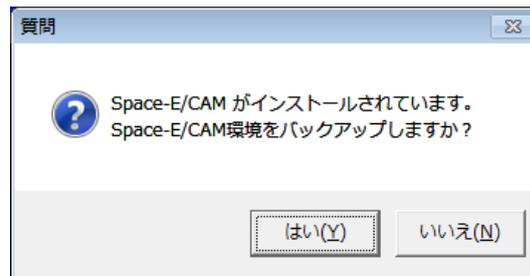


12. しばらく待ちます。

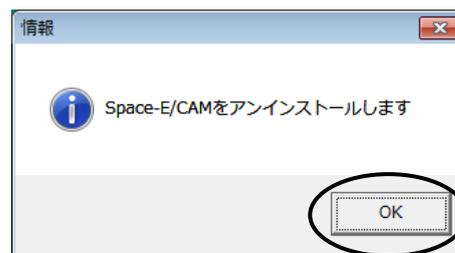


Space-E/CAMがインストールされている場合、次のようなウィンドウが表示されます。

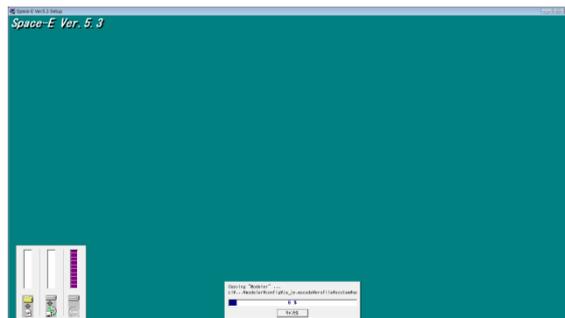
バックアップするなら「はい」ボタンを、しないのであれば「いいえ」ボタンをクリックします。



13. 「OK」ボタンをクリックします。



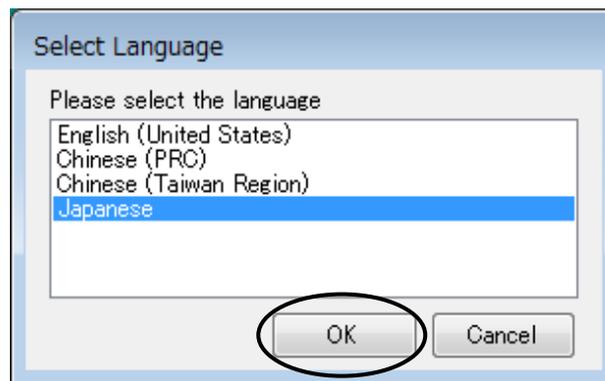
14. しばらく待ちます。



15. 手順7で「はい」ボタンをクリックした場合、バックアップした環境の挿入が開始されます。手順7で「いいえ」ボタンをクリックした方は手順19まで進みます。「はい」ボタンをクリックした方は、「OK」ボタンをクリックします。

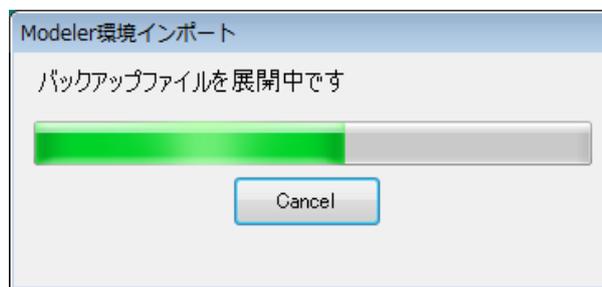


16. 使用する言語を選択し、「OK」ボタンをクリックします。

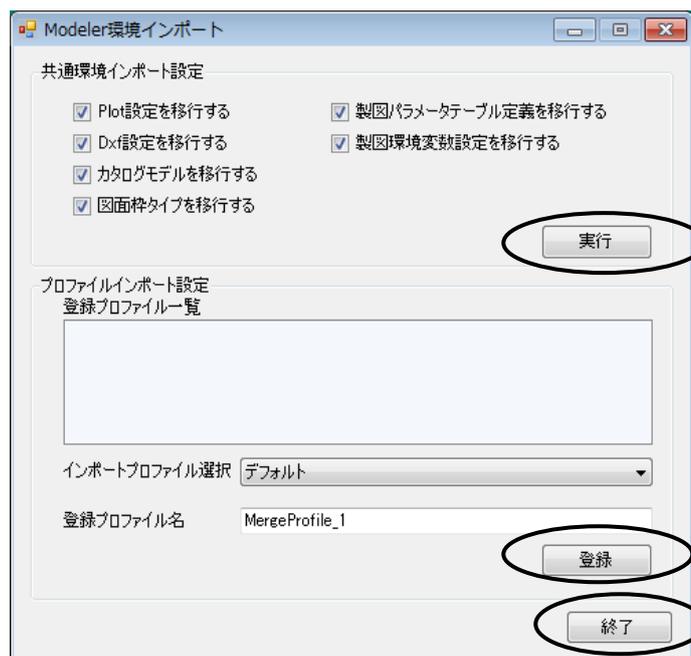


- ※) 誤った言語を設定してしまった場合は、スタートメニューからインポート機能を実行します。  
 ([スタート]–[すべてのプログラム]–[Space-E Ver5.3]–[Modelerツール]–[Modeler環境挿入]) をクリックします。  
 詳細はオンラインマニュアルを参照してください。

17. しばらく待ちます。



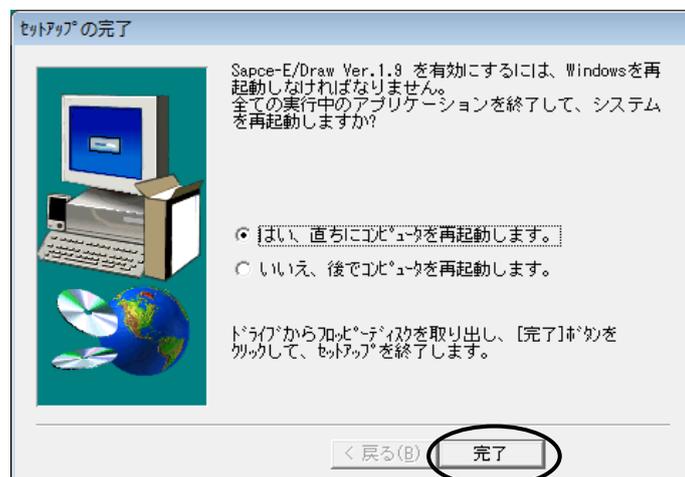
18. 環境インポートを使用します。 共通インポート設定ではインポートしたい項目にチェックを押して「**実行**」ボタンをクリックします。プロファイルインポート設定では、インポートしたいプロファイル名を選択し、インポート後のプロファイル名を記入した後に「**登録**」ボタンをクリックします。すべての作業が終わったら「**終了**」ボタンをクリックします。



19. 「完了」 ボタンをクリックします。



20. PCを再起動します。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「完了」をクリックします。



これでSpace-Eのインストールは終了しました。

- 【注意】** Space-E/CAM、Space-E/CAM Hybrid2Dインストール後、次のように表示されるReadmeを参照してセットアップを行ってください。  
Readmeは、スタートメニューの[スタート]－[プログラム]－[指定したフォルダ]（通常は、[Space-E Ver.5.3]－[Config]－[Readme(CAM)]）から表示できます。



- 【注意】** Space-E/CAM環境のバックアップを行っても自動的に環境の挿入、復元は行ないません。コンピュータを再起動後、HZS¥cam以下の\*.SVフォルダから必要に応じてファイルをコピーいただく必要があります。

- ポスト (\*.xmp) ファイルや、カスタマイズ関連ファイルなど
 

(¥HZS¥cam¥config.SV	→ ¥HZS¥cam¥config)
---------------------	--------------------
- 工具パレット
 

(¥HZS¥cam¥tool.SV	→ ¥HZS¥cam¥tool)
-------------------	------------------
- ホルダパレット
 

(¥HZS¥cam¥hldr.SV	→ ¥HZS¥cam¥hldr)
-------------------	------------------
- 機能パレット
 

(¥HZS¥cam¥func.SV	→ ¥HZS¥cam¥func)
-------------------	------------------
- 工程パレット
 

(¥HZS¥cam¥proc.SV	→ ¥HZS¥cam¥proc)
-------------------	------------------
- テンプレートファイル
 

(¥HZS¥cam¥template.SV	→ ¥HZS¥cam¥template)
-----------------------	----------------------
- ワイヤ関連ファイル
 

(¥HZS¥cam¥wire.SV	→ ¥HZS¥cam¥wire)
-------------------	------------------
- CamWebテンプレート
 

(¥HZS¥Cam¥plugin.SV¥CamWeb¥template	→ ¥HZS¥Cam¥plugin¥CamWeb¥template)
-------------------------------------	------------------------------------

## ● Space-E/CAM Ver.4.2機能継続キット操作手順

Space-E/CAM Version 4.3(以下Ver.4.3)にて、Version 4.2(以下Ver.4.2)にあった一部機能を廃止しました。しかし、その内の以下の機能については、このVer.4.2機能継続キットを適用することにより継続して利用することができます。

- ・等高線ストック荒取り
- ・等高線荒取り2
- ・ペンシル2

これらの機能を利用したい場合は、本資料の手順に従ってセットアップしてください。

Ver.4.3～Ver.4.7のように Ver.4.2をアンインストール前のバックアップ操作は必要ありません。

Space-Eの使用	バージョンアップ	以前のVer.でのアップグレード操作	V42backupフォルダ	本バージョンインストール後のアップグレード操作手順
Ver.4.2以前から使用	Ver.4.8以降からバージョンアップ	継続キット操作手順を実施	CAMフォルダの中にv42backupを保管	継続キット操作手順2
		未実施	CAMフォルダ以外の場所にv42backupを保管	継続キット操作手順2、3
	Ver.4.3～Ver.4.7からバージョンアップ	継続キット操作手順を実施/未実施	v42backupのフォルダなし	継続キット操作手順2、4
Ver.4.3以降から使用	-	利用不可	利用不可	利用不可

継続キット利用可能なお客様とその操作手順

### ◆手順

#### 1. Space-E/CAM Ver.5.3のインストール

DVD-ROMをドライブに挿入すると自動実行によりインストーラのパネルが表示されます。

「**Modeler/CAM インストール**」を選択し、インストールを行ってください。

既にVer.5.3をインストール済みであれば2.のVer.4.2の機能を継続する環境セットアップの操作を行ってください。



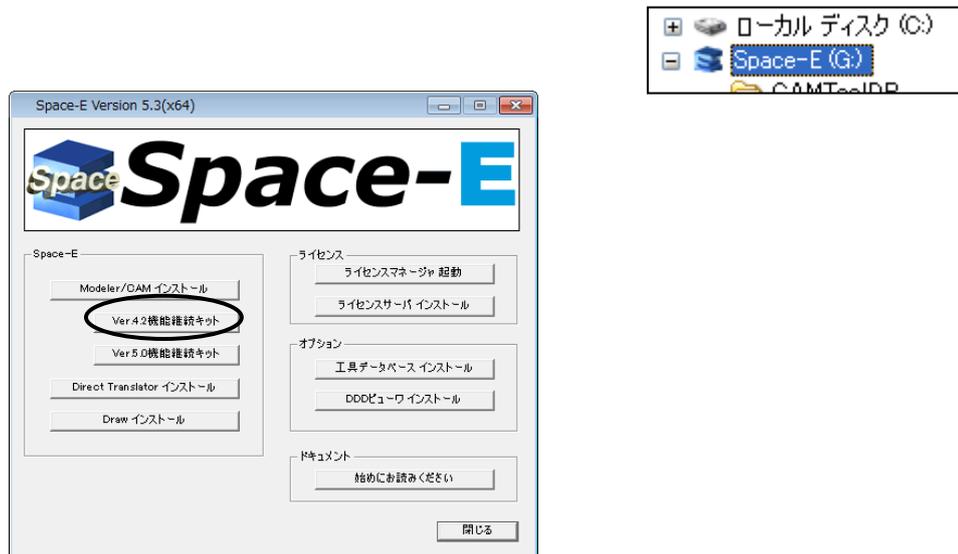
ライセンスの登録は、インストールと再起動が終了した後でも、2.の操作の終了後でも差し支えありません。

2. Ver.4.2の機能を継続する環境をセットアップします。

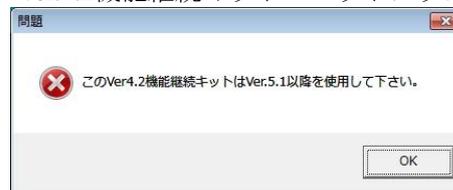
**Ver.4.7**か、それ以前よりバージョンアップされる場合、以前の**v42backup**フォルダは一旦削除ください。予め、**Ver.4.2**のインストールメディアを準備してください。

再起動後、エクスプローラよりDVD-ROMドライブをダブルクリックしてインストーラを起動します。インストーラが自動起動する場合、この操作は必要ありません。

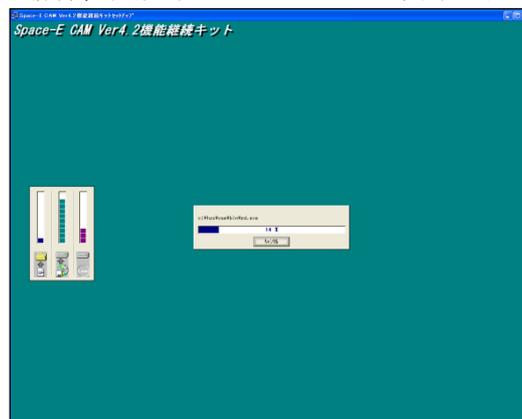
インストーラのパネルから「**V42機能継続キット**」を選択します。

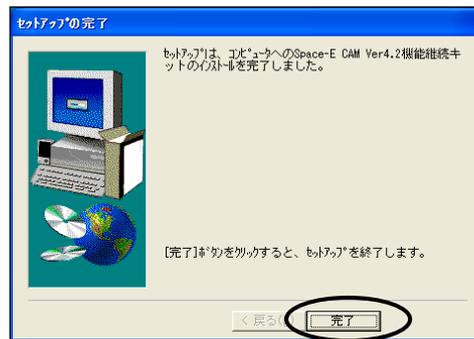


Ver.5.3がインストールされていない場合やSpace-E/CAM Hybrid2Dをインストールした場合、以下のようなパネルが表示され、Ver.4.2機能継続キットのセットアップは行えません。



過去にVer.4.2機能の継続インストールを行ったマシンで、当時のv42backupのフォルダを削除もしくは移動していない場合、自動的にインストールが開始されます。



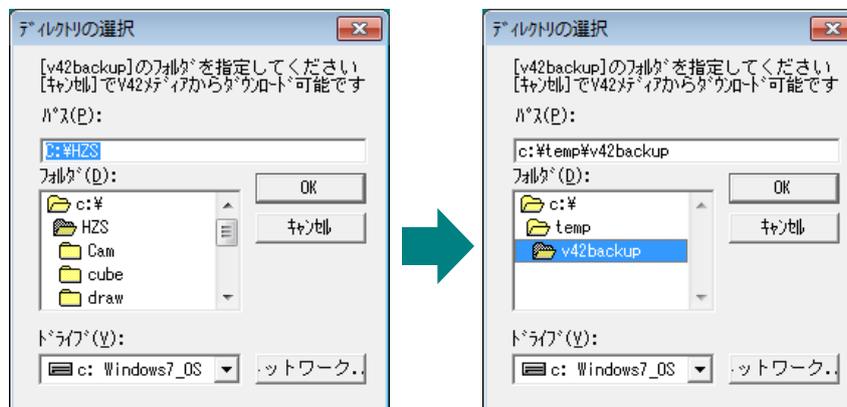


上図のパネルで「完了」を押すとVer.4.2機能の継続インストールが終了します。

### 3. バックアップのフォルダを選択

過去のバージョンアップでVer.4.2の機能を継続する環境セットアップの操作を行い、前回指定したv42backupのフォルダが残っていない場合は、以下のパネルが表示されます。

Ver.4.2のバックアップフォルダの場所を選択します。



ここで[キャンセル]を押すことで継続する機能のモジュールをVer.4.2のメディアから直接ダウンロード&インストールできます。

過去にバックアップを行ったことがない場合、また、過去にバックアップ操作を行った後、Ver.4.2のバックアップフォルダを削除してしまった場合にご利用ください。

4. Ver.4.2のメディアから機能を継続する環境をダウンロードします。  
Ver.4.2のメディアとライセンスをお持ちでないお客様は使用できません。  
過去にVer.4.2の機能を継続する環境保存の操作を行っていない、もしくは、v42backupフォルダが残っていない場合、以下のパネルが表示されます。

CAMフォルダの中にv42backupのフォルダが残っている場合は表示されません。

Windowsの設定で自動起動を設定している場合、Ver.4.2のメディアをDVDドライブに入れて、すぐ後に[Shift]キーを押してください。

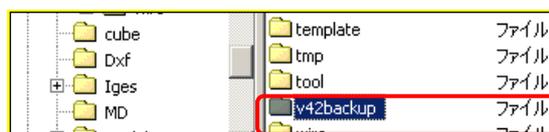
[Shift]キーを押すとVer.4.2のインストール画面が出ずにスムーズに作業が行えます。



Windows 7にて下図のようなパネルが表示された場合、パネル右上の「x」ボタンを押して自動実行をキャンセルしてください。



Ver.4.2メディアからダウンロードするとSpace-EをインストールしていたドライブのHZSYCAMの環境下に以下のフォルダが自動作成されます。



**【注意】**このフォルダを削除せずに残しておくことで今後のバージョンアップの操作が容易になります。できるだけ移動、削除しないようにするか次回インストール時に元のフォルダの中に移動設定するよう注意してください。

例えば、C:\temp\v42backupをフォルダ選択した場合、次回以降このフォルダを参照するようになります。次回インストール時にこのフォルダを移動もしくは削除していると「3.バックアップのフォルダ選択」のパネルから再びフォルダもしくはメディアを選択となります。

アンインストールではv42backupのフォルダは削除されることはありません。

## 5. 確認

Ver.4.2継続キット適用後のバージョンは工程設計の「ヘルプ」 - 「バージョン情報」から確認できます。



## ● Space-E/CAM Ver.5.0機能継続キット操作手順

Space-E/CAM Version 5.1にて、Version 5.0(以下Ver.5.0)にあった一部機能を廃止しました。

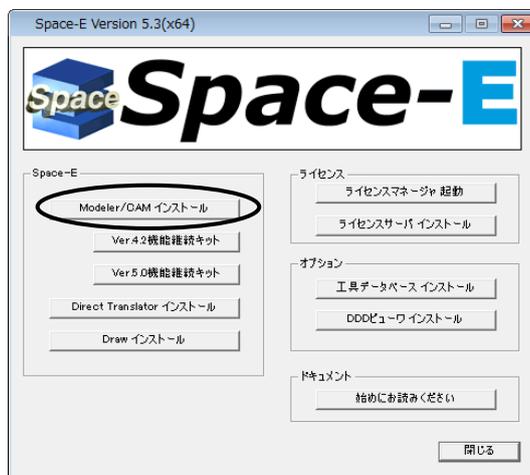
しかし、その内の以下の機能については、このVer.5.0機能継続キットを適用することにより継続して利用することができます。

- ・ 荒取り
- ・ 仕上げ
- ・ 螺旋仕上げ
- ・ 等ピッチ加工
- ・ 水平加工
- ・ 隅取り
- ・ 隅取り(旧)
- ・ ペンシル
- ・ モデル(フィレット設定)
- ・ 削り残し領域作成
- ・ ホルダ干渉領域作成

これらの機能を利用したい場合は、本資料の手順に従ってセットアップしてください。

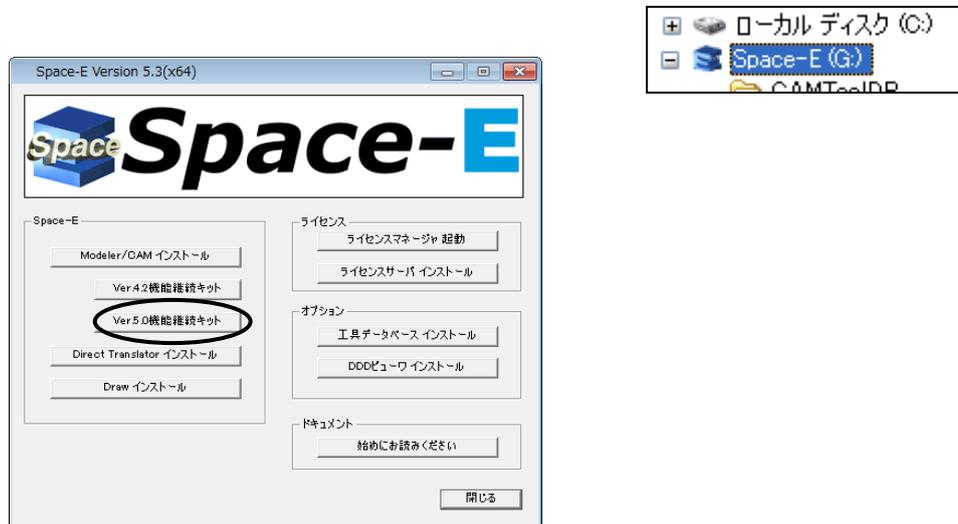
### ◆手順

1. Space-E/CAM Ver.5.3(以下Ver.5.3)のインストール  
DVD-ROMをドライブに挿入すると自動実行によりインストーラのパネルが表示されます。  
「**Modeler/CAM インストール**」を選択し、インストールを行ってください。  
既にVer.5.3をインストール済みであれば2.のVer.5.0の機能を継続する環境セットアップの操作を行ってください。

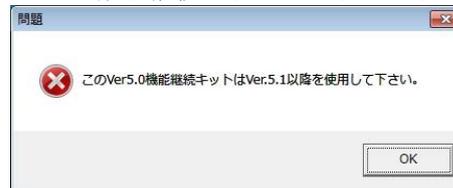


ライセンスの登録は、インストールと再起動が終了した後でも、2.の操作の終了後でも差し支えありません。

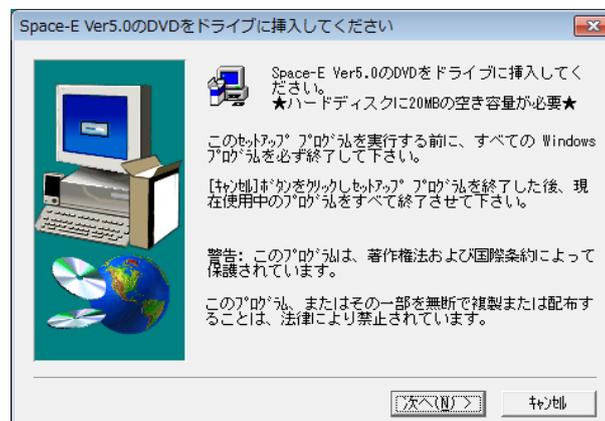
2. Ver.5.0の機能を継続する環境をセットアップします。  
 予め、**Ver.5.0のインストールメディアを準備**してください。  
 再起動後、エクスプローラよりDVD-ROMドライブをダブルクリックしてインストーラを起動します。インストーラが自動起動する場合、この操作は必要ありません。  
 インストーラのパネルから「**V50機能継続キット**」を選択します。



Ver.5.3がインストールされていない場合やSpace-E/CAM Hybrid2Dをインストールした場合、以下のようなパネルが表示され、Ver.5.0機能継続キットのセットアップは行えません。



3. Ver.5.0のメディアから機能を継続する環境をダウンロードします。  
 Ver.5.0のメディアとライセンスをお持ちでないお客様は使用できません。  
Windowsの設定で自動起動を設定している場合、Ver.5.0のメディアをDVDドライブに入れて、すぐ後に[Shift]キーを押してください。  
[Shift]キーを押すとVer.5.0のインストール画面が出ずにスムーズに作業が行えます。



Windows 7にて下図のようなパネルが表示された場合、パネル右上の「x」ボタンを押して自動実行をキャンセルしてください。



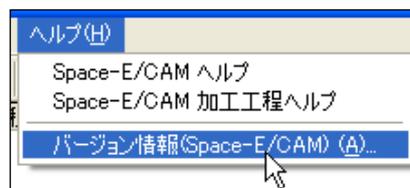
Ver.5.0メディアからダウンロードするとSpace-EをインストールしていたドライブのHZSYCAMの環境下に以下のフォルダが自動作成されます。



- 【注意】**このフォルダを削除せずに残しておくことで今後のバージョンアップの操作が容易になります。できるだけ移動、削除しないようにするか次回インストール時に元のフォルダの中に移動設定するよう注意してください。  
例えば、C:\temp\v50backupをフォルダ選択した場合、次回以降このフォルダを参照するようになります。  
アンインストールではv50backupのフォルダは削除されることはありません。

#### 4. 確認

Ver.5.0継続キット適用後のバージョンは工程設計の「ヘルプ」 - 「バージョン情報」から確認できます。



## ライセンスの登録について

### ●概要

*Space-E*を起動するためにはライセンスキーの登録が必要です。

*Space-E*システムをPCにインストールした後に、「マシン固有ID」（PC固有のID）を調べます。この二つのIDをもとに各システムのライセンスキーが発行されます。

*Space-E*システムのインストールはライセンスキーがなくてもできます。

ライセンスを取得するには3日かかりますので、「Space-Eライセンス要求書」はお早めにお送りください。

PCにOSをインストールし直した際にネットワークカードの認識などに違いが出た場合や、PCのハードウェア構成が変更された場合、マシン固有IDが変更されることがあります。この場合、ライセンスキーを再発行する必要があります。

### ●ライセンス登録の流れ

*Space-E*をインストールするとライセンスマネージャーもインストールされます。

また、メディア上からライセンスマネージャーを実行することができます。

ライセンスの構成には通常のManufacturing-Space、ノードロックライセンス、ネットワークライセンスという形態があります。

ライセンス登録の流れは次の通りです。

#### （Manufacturing-Spaceの場合）

- (1) *Space-E*アプリケーションを使用するPCでライセンスマネージャーを起動し、マシン固有IDを取得します。
- (2) システム管理者が利用者ユーティリティにてマシン固有ID、アカウント等を設定します。
- (3) 設定したマシン、アカウントを使ってManufacturing-Spaceにログインすることで、ライセンスを取得します。

※) 詳細については利用者ユーティリティの操作ガイドを参照してください。

#### （ノードロックライセンスの場合）

- (1) ライセンスマネージャーを実行するとマシン固有IDが表示されます。
- (2) マシン固有IDを添付の「*Space-E*ライセンス発行書」に記入し、ライセンスを要求します。
- (3) 「*Space-E*ライセンス発行書」が発行されます。ライセンスキーをファイルに保存します。
- (4) 再度上記のライセンスマネージャーを起動し、ライセンスキーを入力してライセンスを登録します。

#### （ネットワークライセンスの場合）

- (1) ライセンスサーバをインストールします
- (2) ライセンスサーバでライセンスマネージャーを実行するとマシン固有IDが表示されます。  
(ライセンスマネージャーはメディア上から実行が可能です。)
- (3) マシン固有IDを添付の「*Space-E*ライセンス発行書」に記入し、ライセンスを要求します。
- (4) 「*Space-E*ライセンス発行書」が発行されます。ライセンスキーをファイルに保存します。
- (5) ライセンスマネージャーを実行し、ライセンスサーバに対してライセンスキーを入力してライセンスを登録します。
- (6) *Space-E*アプリケーションを使用するPCでライセンスマネージャーを起動します。  
ライセンスサーバのコンピューター名またはIPアドレスを設定してネットワークライセンスを取得するように構成します。

## ●実際の操作

登録の操作を実際の操作画面で説明します。

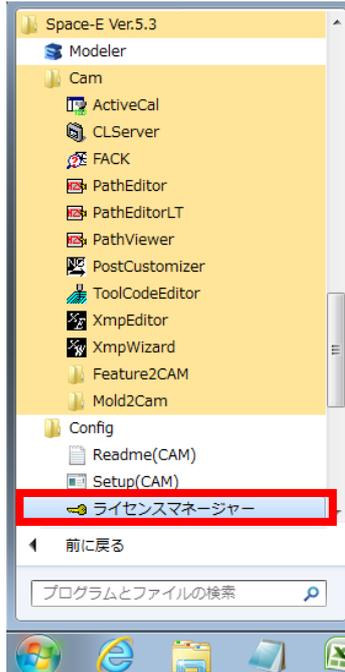
### <ノードロックライセンスの例>

※画面はWindows 7 Professional+sp1環境の場合です。実際の画面構成はご使用の環境によって、異なる場合があります。

#### (1) ライセンスマネージャーの起動

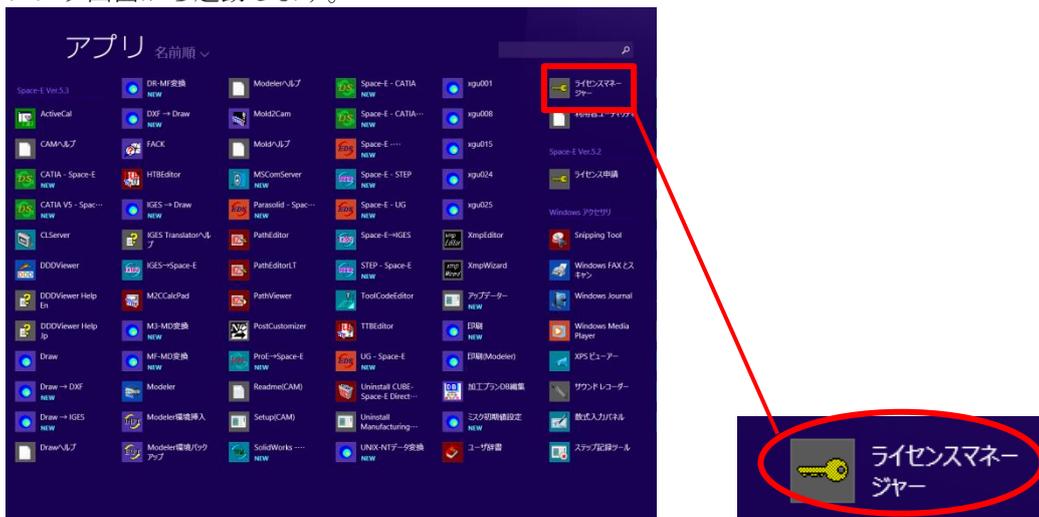
[ライセンスマネージャー]を起動します。

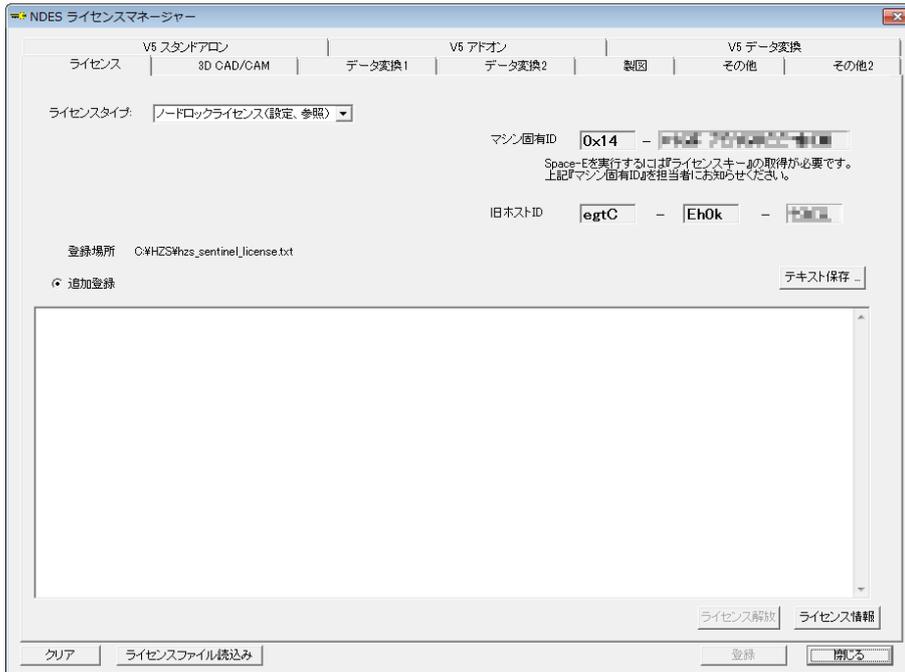
【WindowsXP、Windows 7 の場合】



【Windows8、Windows8.1の場合】

アプリ画面から起動します。





(2) ライセンスの取得方法

ライセンスの申請及び取得に関しては、Space-Eのケース内にある同封物に記載されています。  
 また、新規のお客様と既存のお客様では手順が異なります。  
 新規のお客様は「ライセンス申請の手順 ライセンスに関するご注意」をご覧ください。  
 既存のお客様は「ライセンスキーの取得 新ライセンスシステム ライセンス申請の手順  
 ライセンスに関するご注意」をご覧ください。

(3) ライセンスキーの保存

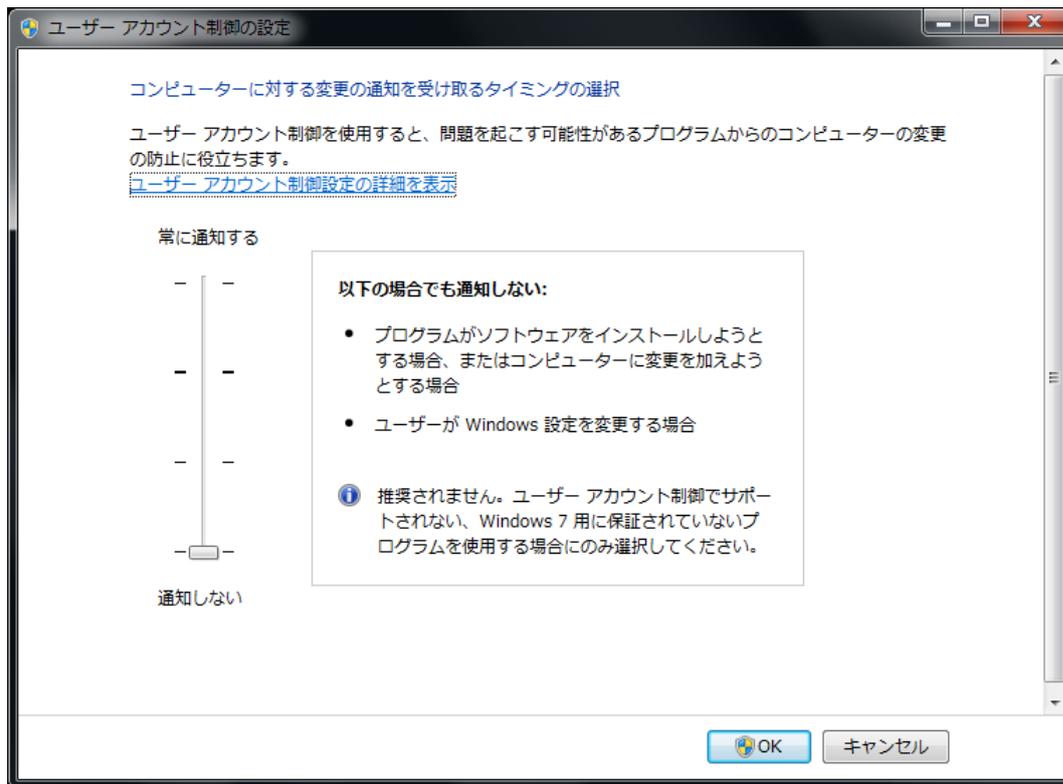
発行されたライセンスキーをファイルに保存します。

(4) UAC(ユーザアカウント制御)のオフ

Windows XPの場合は(5)ライセンスキーの登録に進みます。  
 Windows XP以外の場合はUAC(ユーザアカウント制御)をオフにします。  
 Windows 7の例を示します。  
 コントロールパネルからユーザアカウントを選択し、ユーザアカウント制御設定の変更を選択します。



設定を「通知しない」(一番下)に設定し、OKをクリックします。



UACの設定変更を有効にするため、システムの再起動を行います。

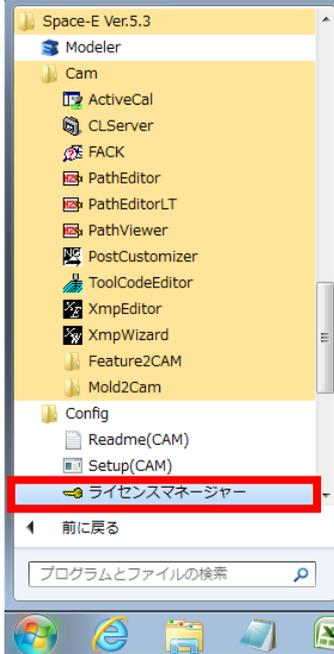
(5) ライセンスキーの登録

Windows XPの場合はAdministratorでログオンします。

[ライセンスマネージャー]を起動します。

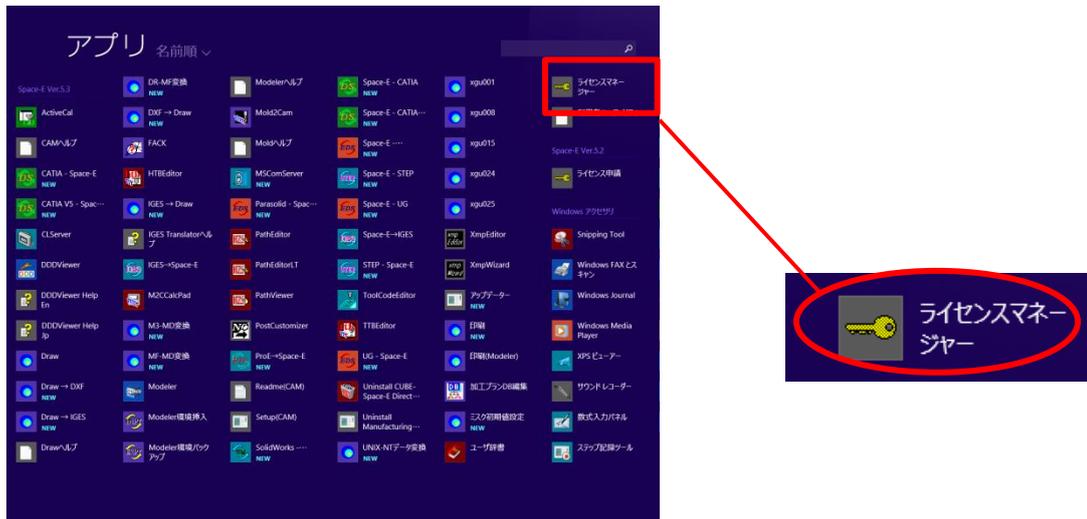
Space-EアプリケーションをインストールしたPCでライセンスマネージャーを実行します。

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

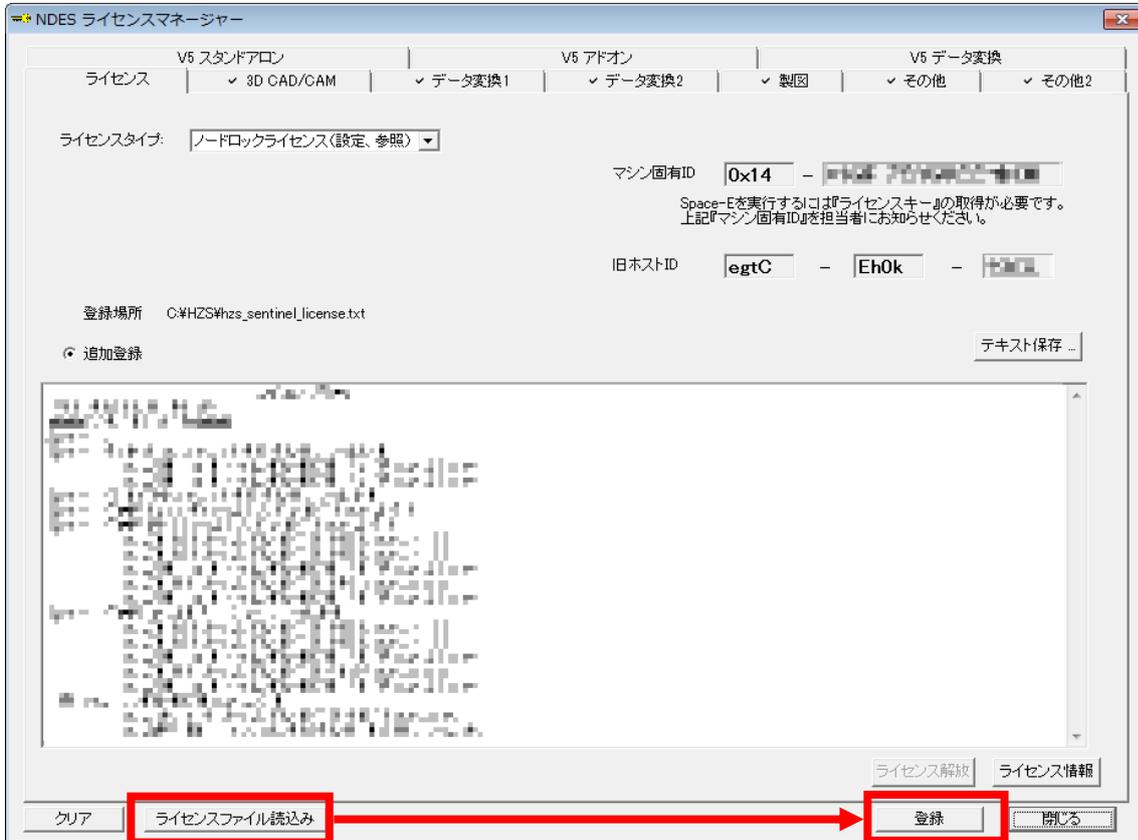


【Windows8、Windows8.1の場合】

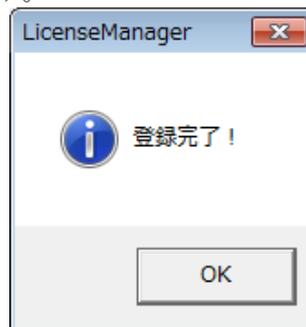
アプリ画面から起動します。



[ライセンスファイル読み込み]ボタンをクリックし、発行されたライセンスファイルを指定します(または、ライセンスファイルをドロップする、上部のタブを切り替えて直接入力する、も可能です)。ライセンスキーが入力されると、上部タブにチェックがつきます。この状態で、「登録」ボタンを押し、ライセンスキーを登録します。



ライセンスがシステムに登録されます。



### ＜ネットワークライセンスの例＞

ライセンスの形態として、「ネットワーク」を選択した場合、アプリケーションをご使用になるPCの設定の他に、ライセンスサーバのインストールが必要になります。

※画面はWindows 7 Professional+sp1環境の場合です。実際の画面構成はご使用の環境によって、微妙に異なる場合があります。

#### (1) ライセンスサーバのインストール

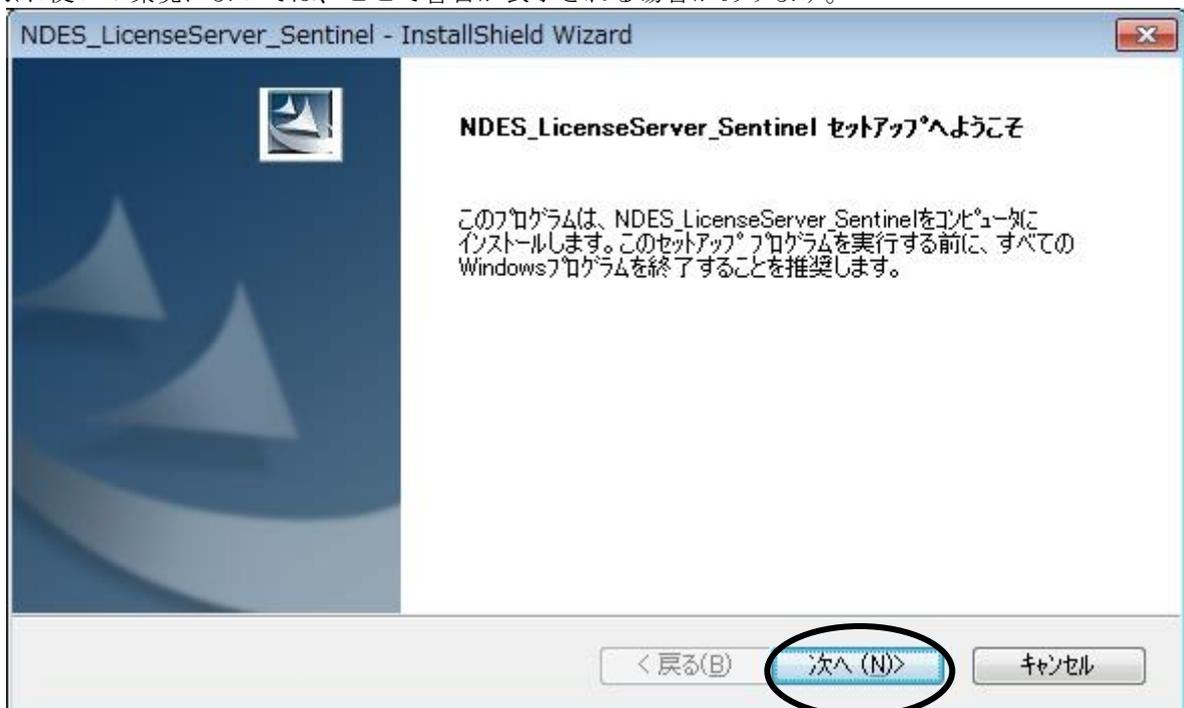
DVD-ROMドライブにDVDをセットすると、自動的にインストーラが起動します。

インストーラの『ライセンスサーバインストール』をクリックするとインストールが開始されます。

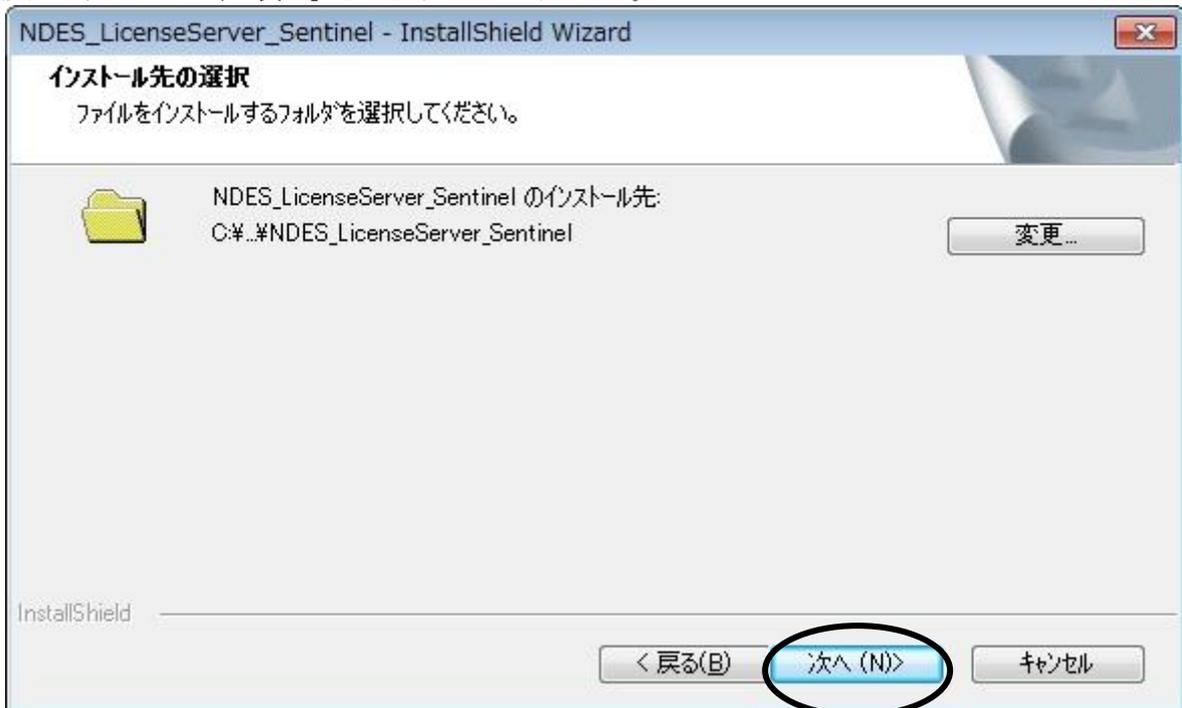


インストールが開始されるので、「次へ」をクリックしてください。

※お使いの環境によっては、ここで警告が表示される場合があります。



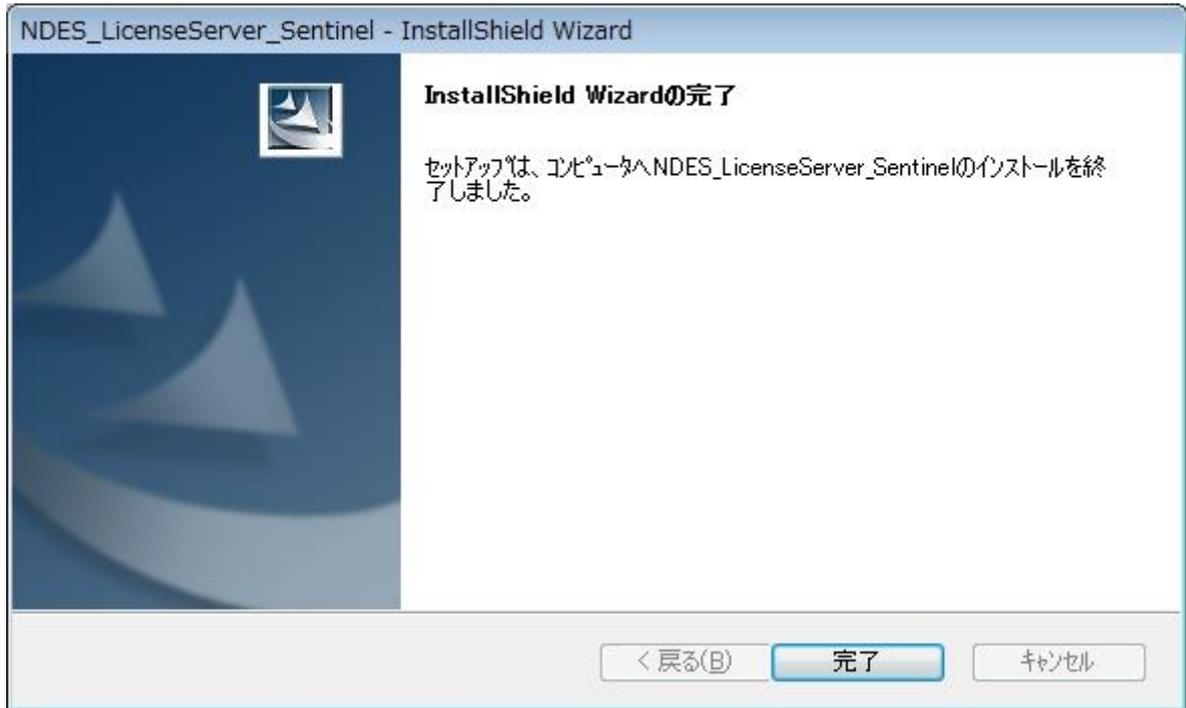
ライセンスサーバのインストール先を指定します。  
インストール先を変更したい場合、「**変更**」ボタンをクリックし、インストール先を指定します。  
設定が終わったら、「**次へ**」をクリックしてください。



「**インストール**」をクリックしてインストールを開始します。



「完了」をクリックしてインストールを完了します。



(2) ライセンスマネージャーの起動

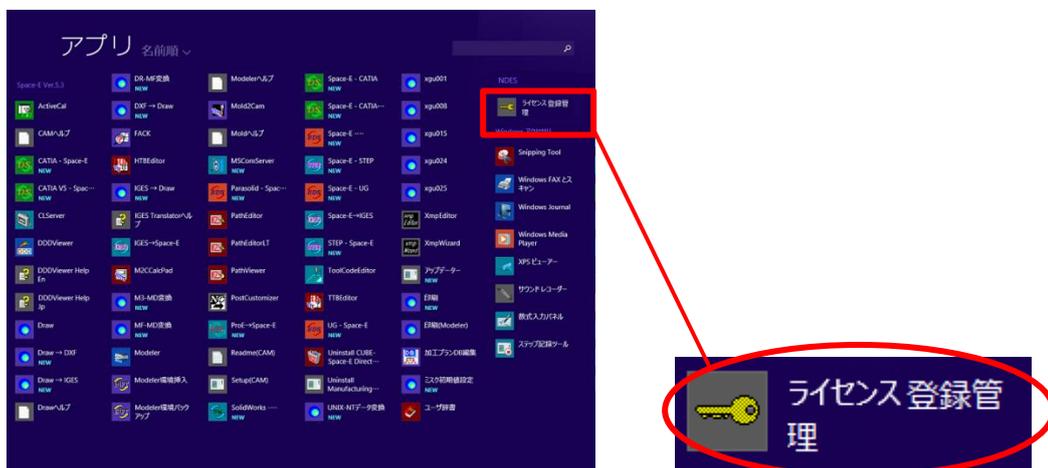
ライセンスサーバをインストールしたPCで、[ライセンス登録管理]を起動します。

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

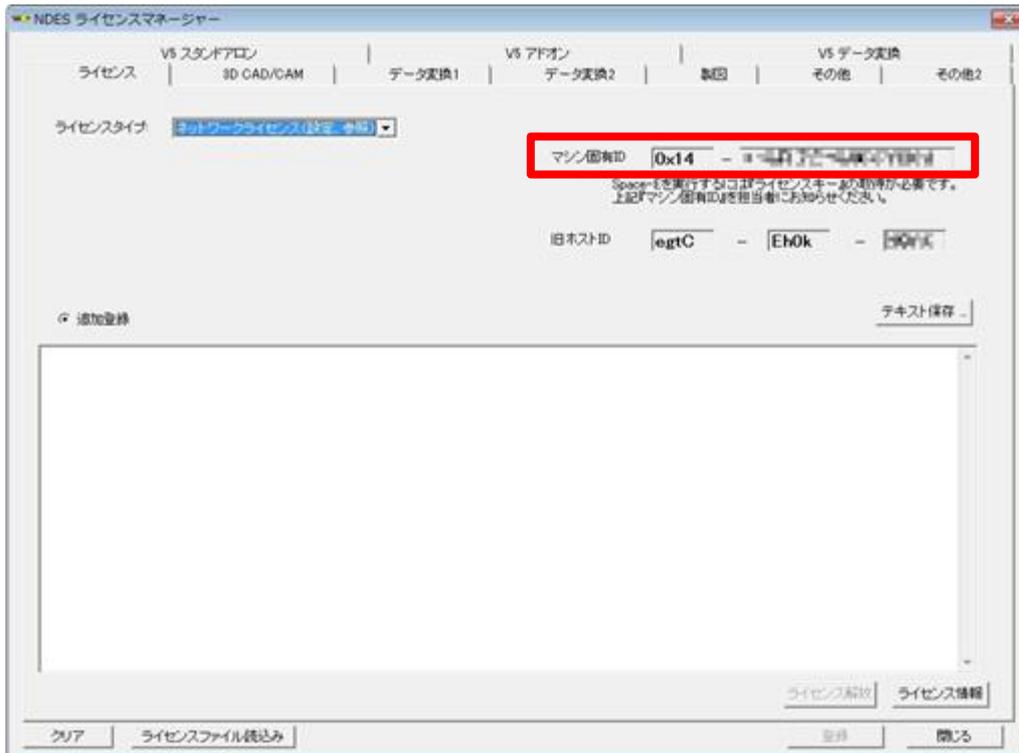


【Windows8、Windows8.1の場合】

アプリ画面から起動します。



マシン固有IDと、旧HVSホストIDが、右上部に表示されます

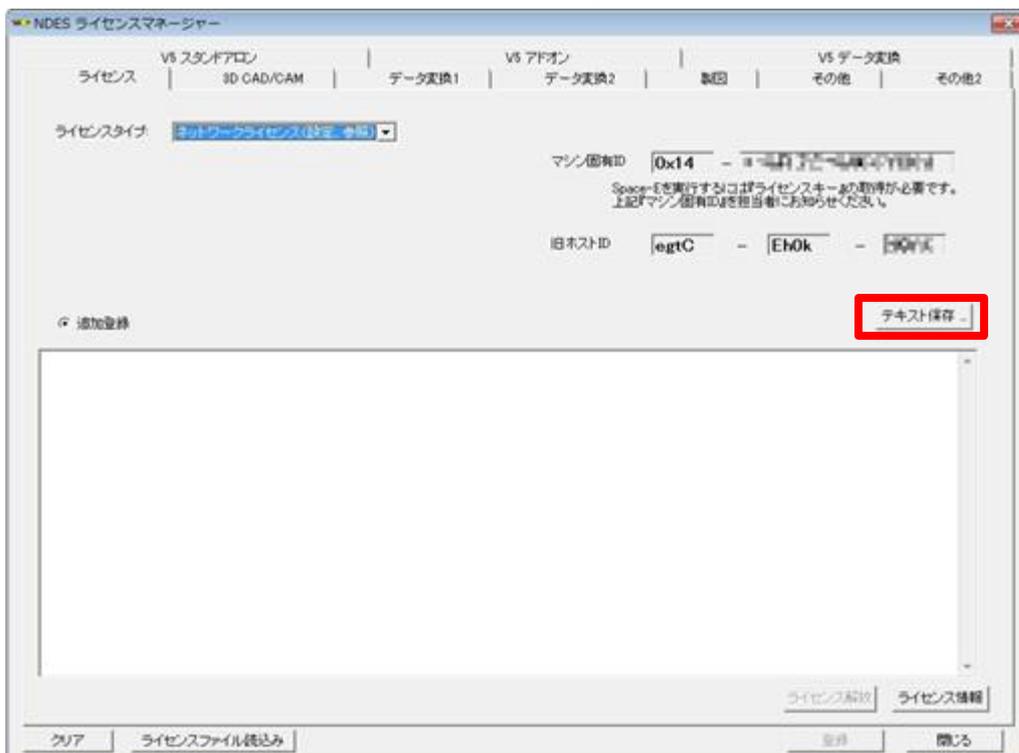


(3) ライセンスの取得方法

「Space-Eライセンス要求書」に必要事項とマシン固有IDを記入し、弊社担当営業にお送りください。  
「Space-Eライセンス発行書」が発行されます。

(4) ライセンスキーの保存

発行されたライセンスキーをファイルに保存します。



(5) ライセンスの登録

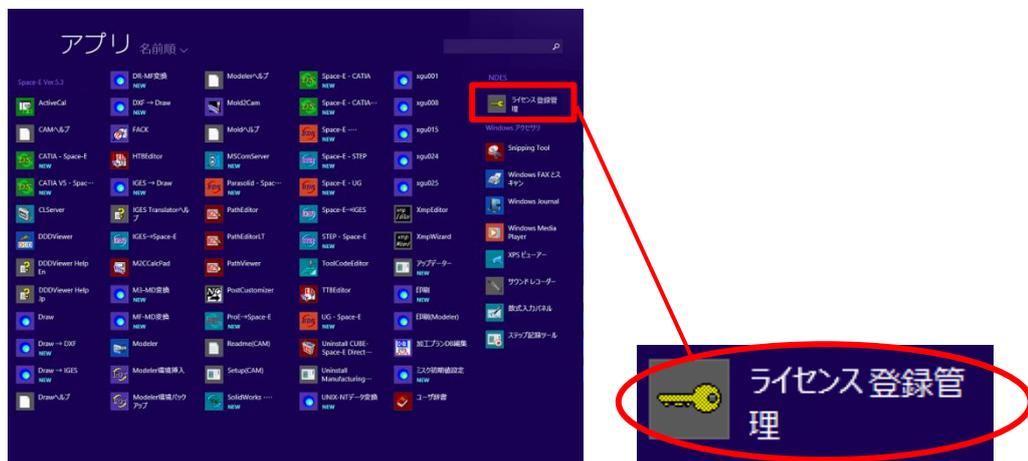
ネットワークライセンスの登録を行います。ライセンスサーバをインストールしたPCで、**[すべてのプログラム] - [NDES] - [NDES\_LicenseServer\_Sentinel] - [ライセンス登録管理]**を起動します。

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

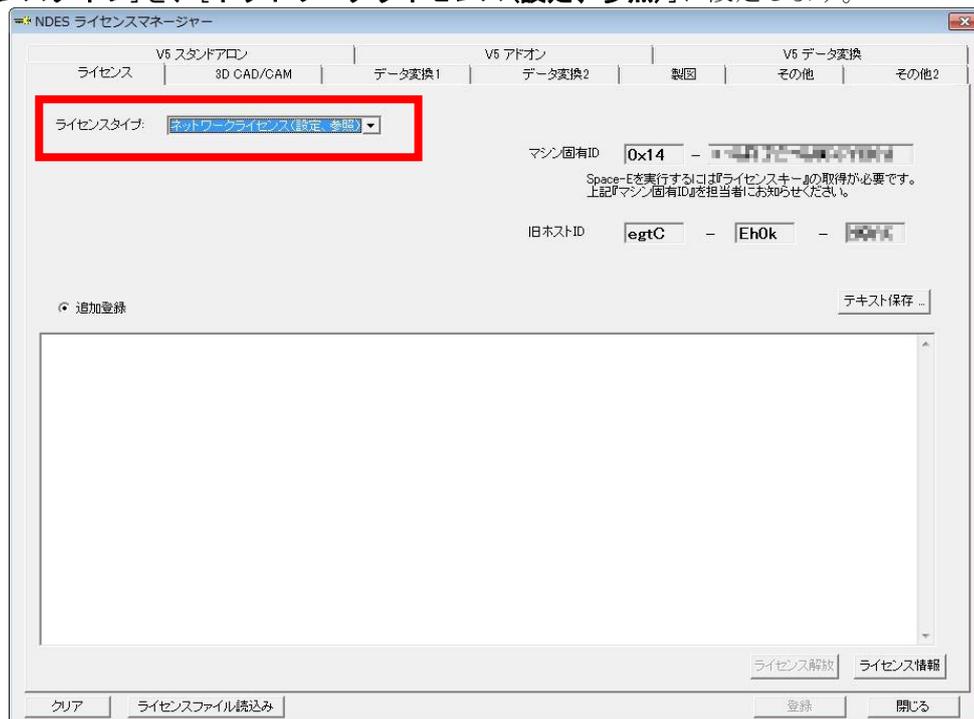


【Windows8、Windows8.1の場合】

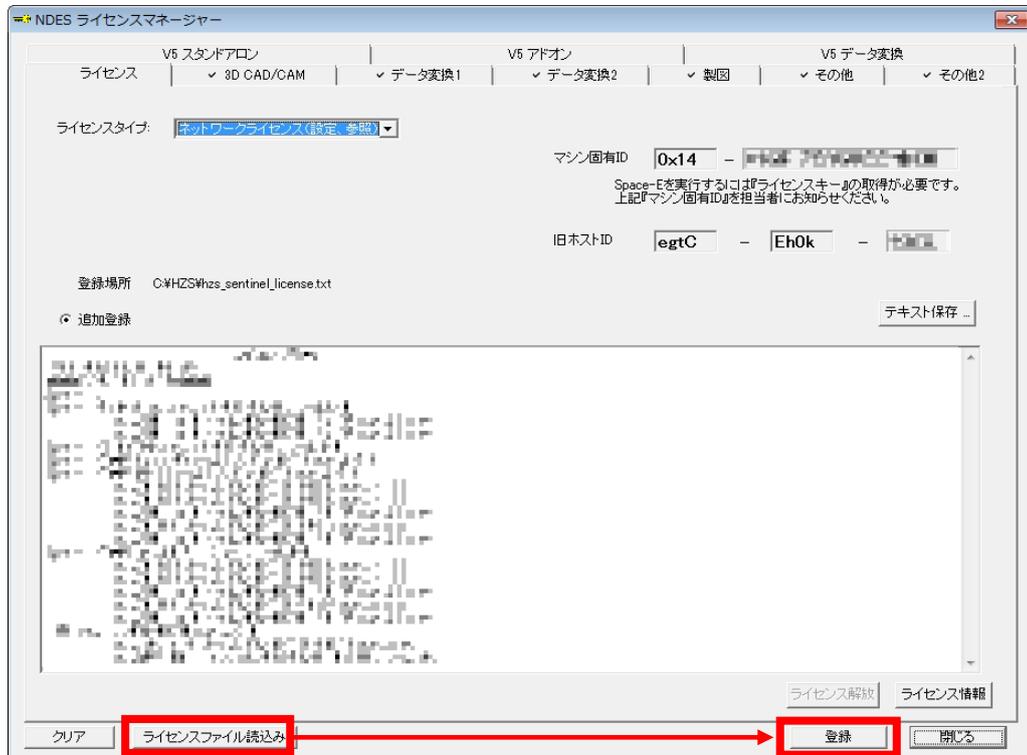
アプリ画面から起動します。



**[ライセンスタイプ]**を、**[ネットワークライセンス(設定、参照)]**に設定します。



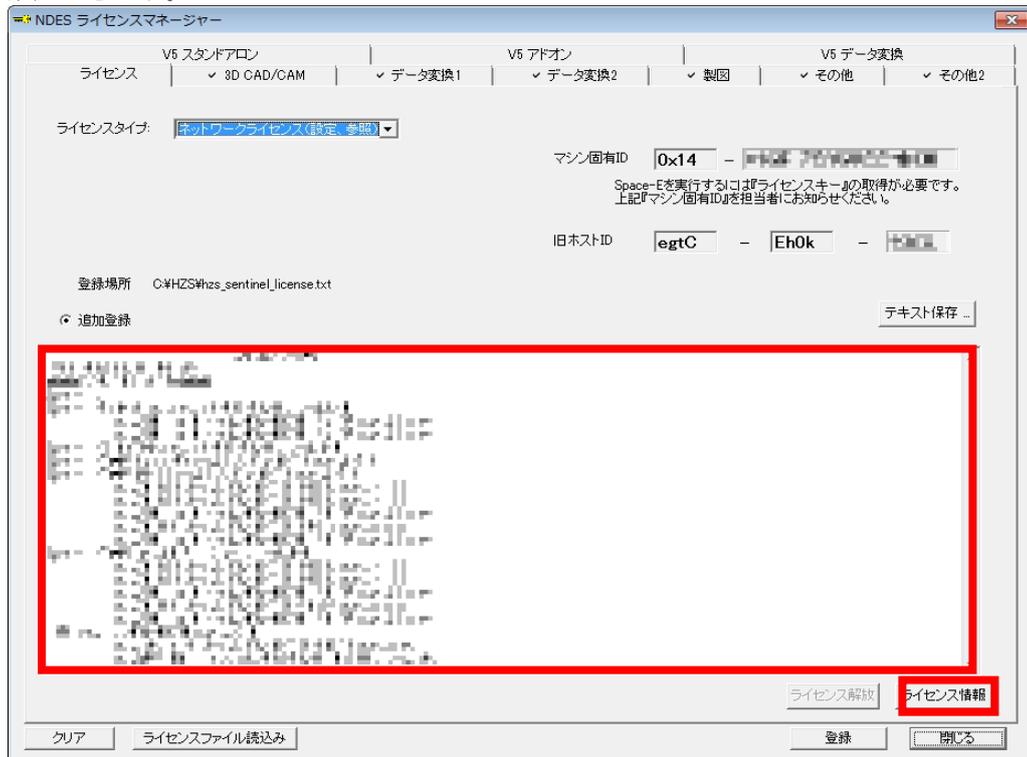
**[ライセンスファイル読み込み]** ボタンをクリックし、発行されたライセンスファイルを指定します(または、ライセンスファイルをドロップする、上部のタブを切り替えて直接入力する、も可能です)。  
 ライセンスキーが入力されると、上部タブにチェックがつきます。  
 この状態で、「登録」 ボタンを押し、ライセンスキーを登録します。



ライセンスが登録されます。



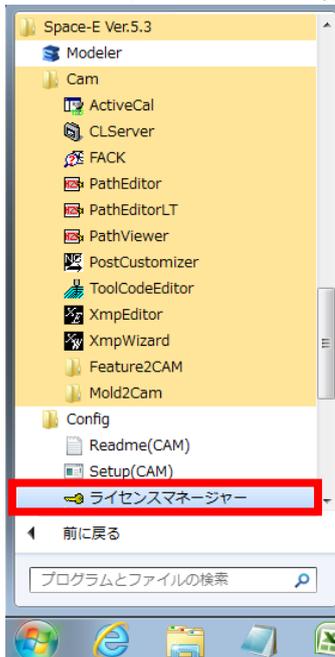
ライセンス登録後、「ライセンスタイプ」を「ネットワークライセンス(設定、参照)」にした状態で、画面右下の「ライセンス情報」をクリックすることで、ライセンスサーバに登録されているライセンス情報を確認できます。



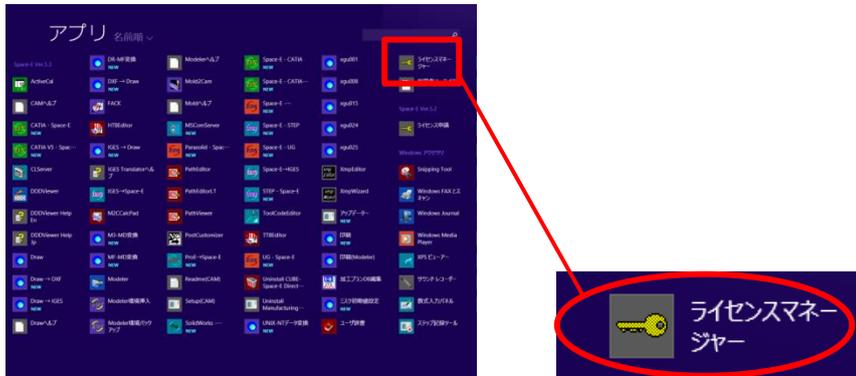
(6) アプリケーション使用PCの設定

Space-EアプリケーションをインストールしたPCでライセンスマネージャーを実行します。

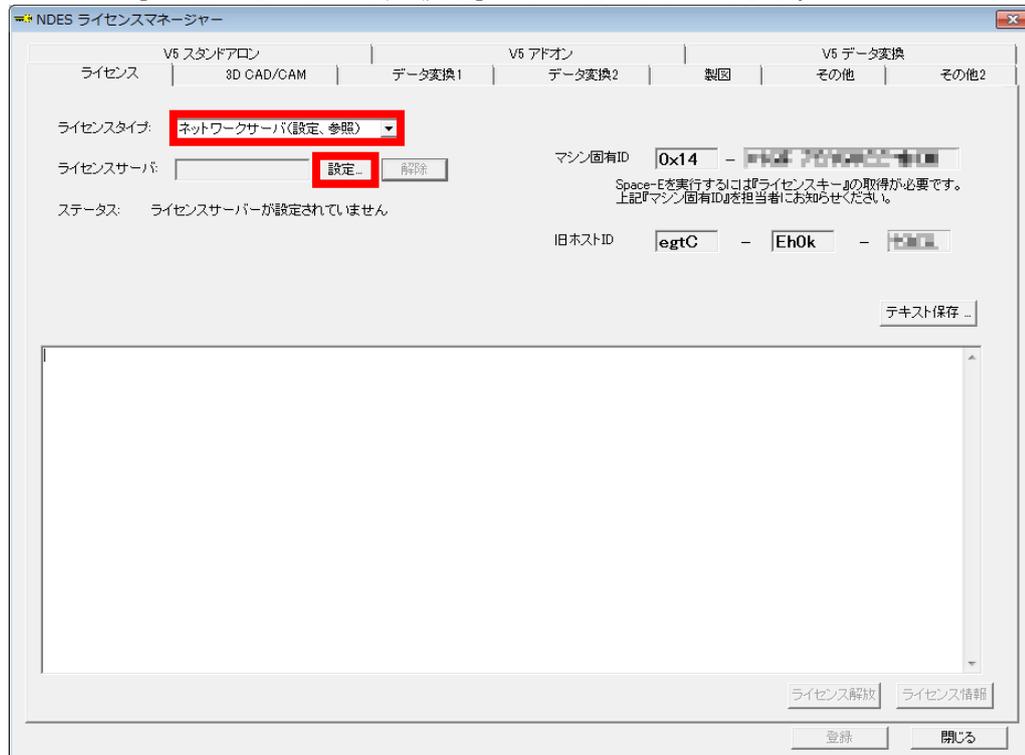
【WindowsXP、Windows 7 の場合】



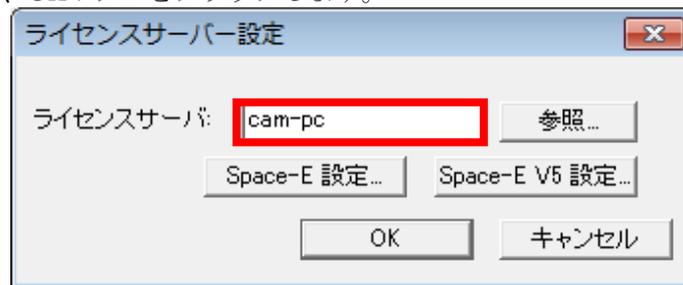
【Windows8、Windows8.1の場合】  
 アプリ画面から起動します。



「ライセンスタイプ」から、「ネットワークサーバ(設定・参照)」を選択してください。  
 「ライセンスサーバ」が表示されるので、「設定」ボタンをクリックします。



「ライセンスサーバ」に、ライセンスサーバをインストールしたマシンのコンピュータ名称、またはIPアドレスを入力して、OKボタンをクリックします。



サーバに接続可能であれば「ステータス」の項目に「設定されているライセンスサーバは有効です」と表示されます。このときにエラーが表示される場合は、ライセンスサーバとのネットワーク接続などをご確認ください。

エラーメッセージが表示されない場合は、「閉じる」をクリックして設定を終了します。



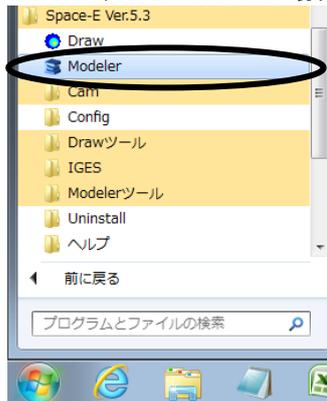
## Space-E/Modelerの起動と終了

### ●Space-E/Modelerの起動

Space-E/Modelerの起動方法について説明します。

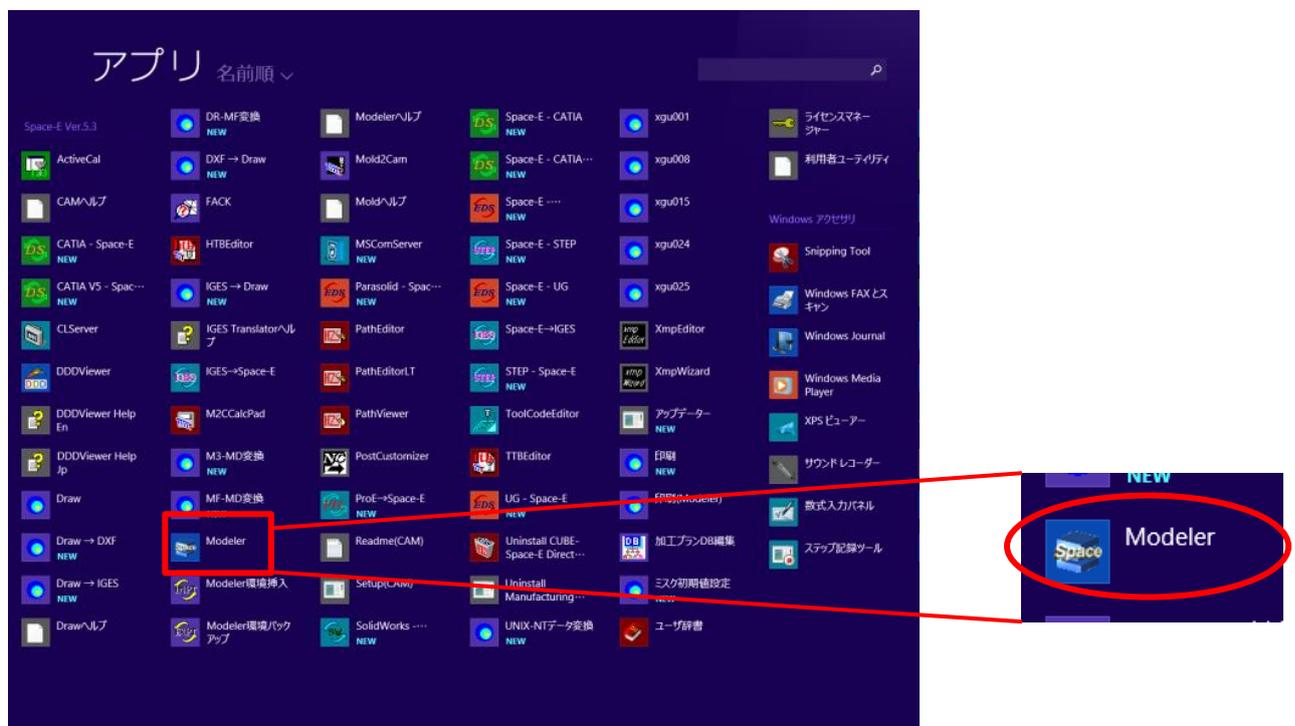
- ・Space-E用ユーザーでログオンします。
- ・[Modeler]を起動します。

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

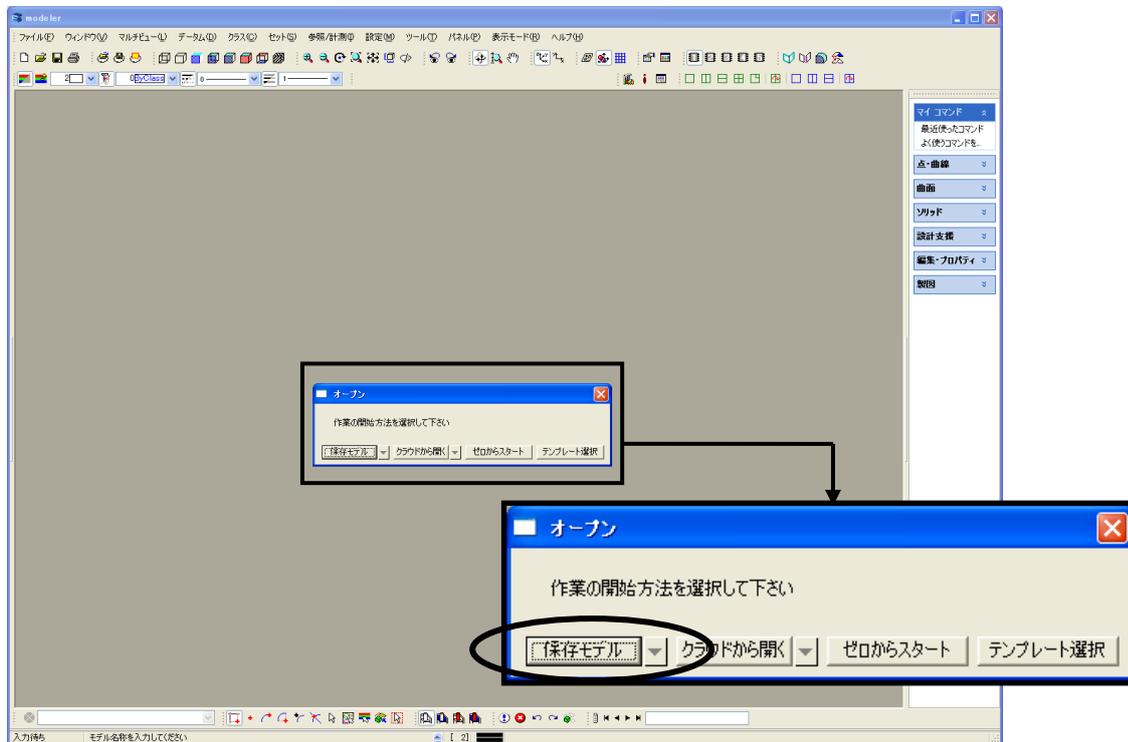


【Windows8、Windows8.1の場合】

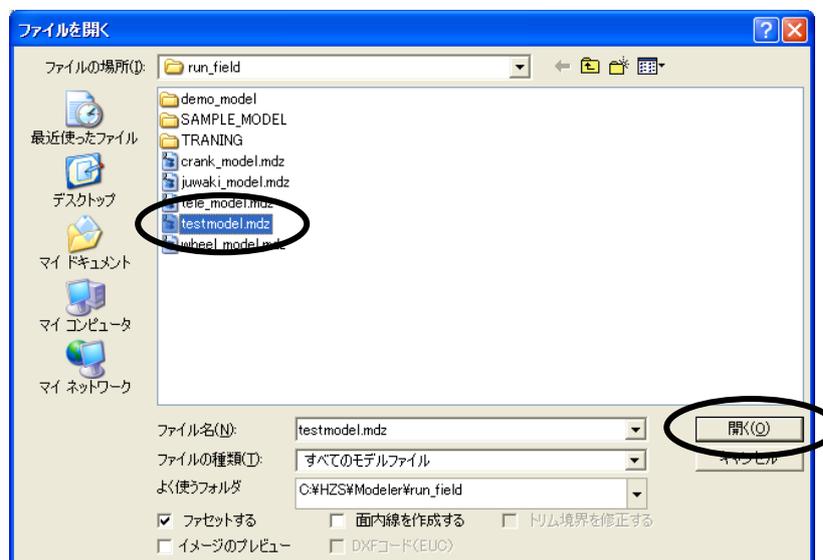
アプリ画面から起動します。



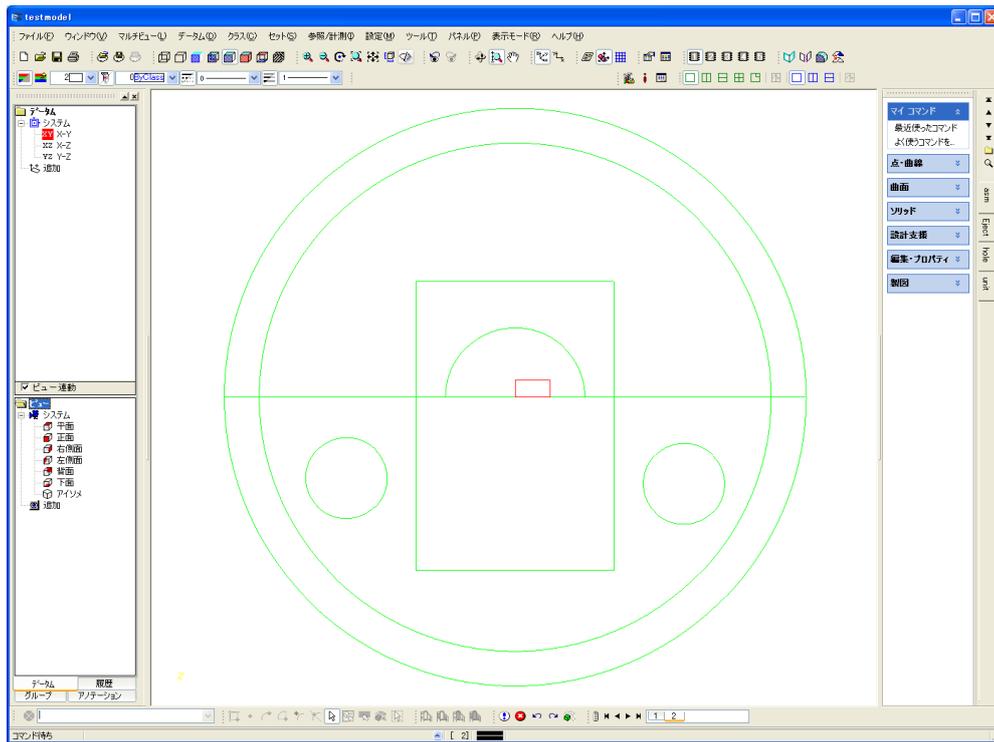
- ・Space-E/Modelerが起動された直後の画面です。
- ・画面中央にモデル呼出しのパネルが表示されます。ここでは「保存モデル」をクリックします。



- ・ファイルを開くダイアログが表示されますので、**testmodel.mdz** を選択して、「開く」をクリックします。



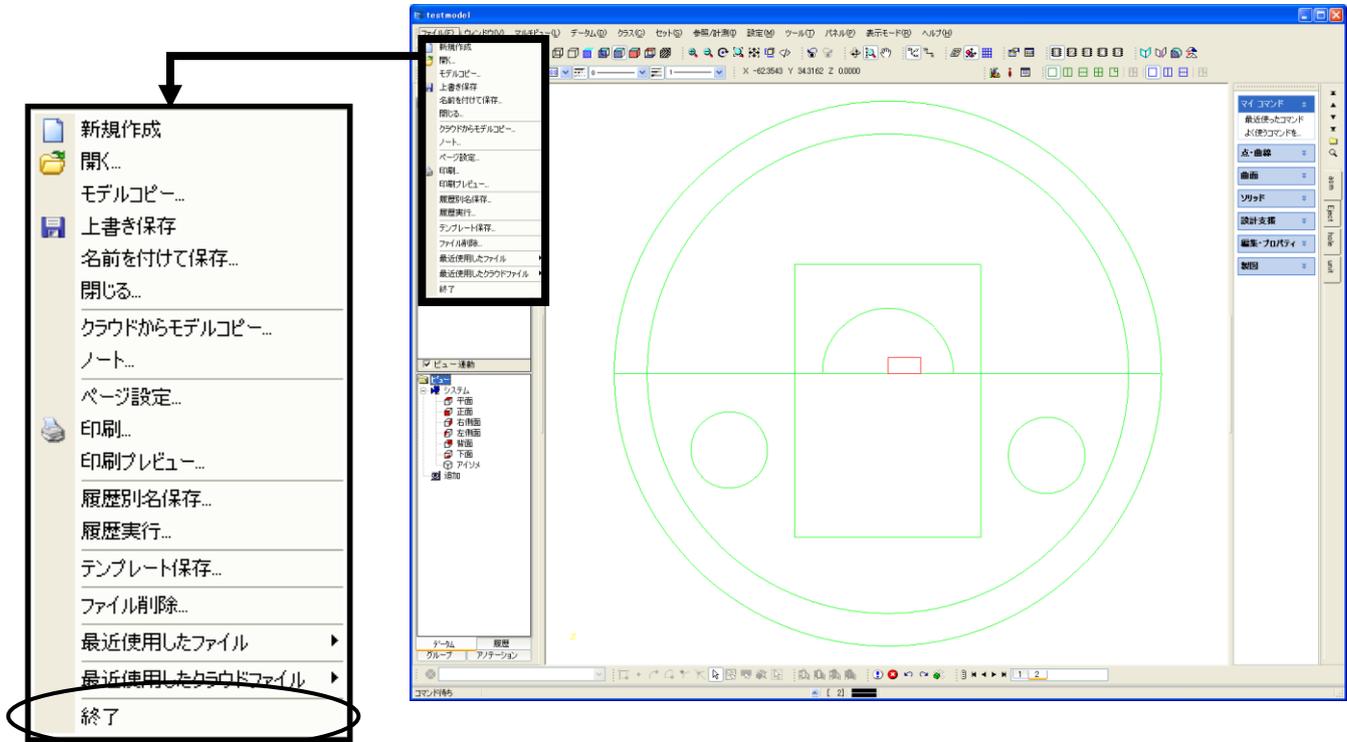
- `testmodel.mdz`が表示されます。



## ●Space-E/Modelerの終了

Space-E/Modelerの終了方法について説明します。

Space-E/Modelerを終了する前にモデルを保存しているかどうか確認しましょう。画面左上の補助コマンドの中から「ファイル」→「終了」をクリックします。



モデルが保存されていない場合、画面の中央にパネルが表示され保存するかを聞いてきます。保存する場合には「はい」を、保存しない場合には「いいえ」をクリックします。



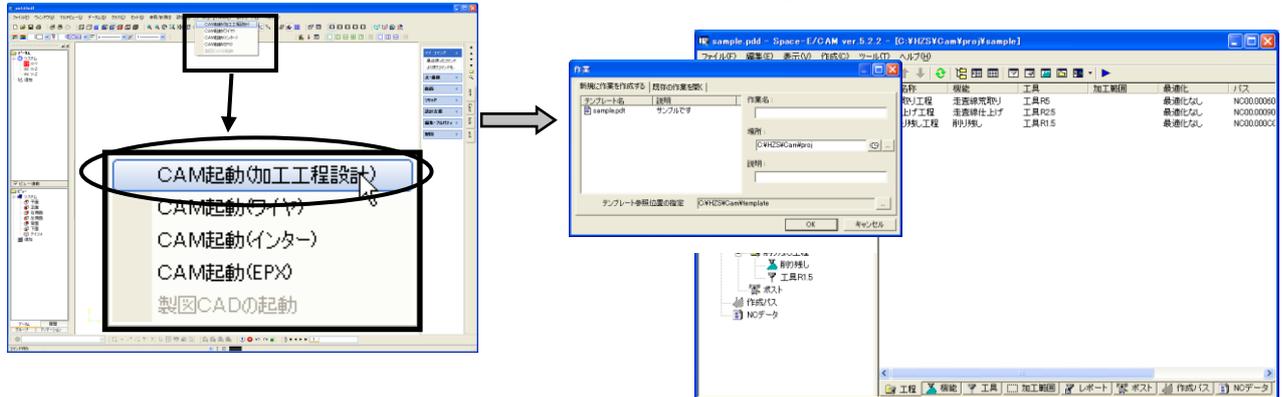
・これでSpace-E/Modelerは終了します。

## Space-E/CAMの起動と終了

### ●標準・穴あけ加工の起動

標準・穴あけ加工の起動方法について説明します。

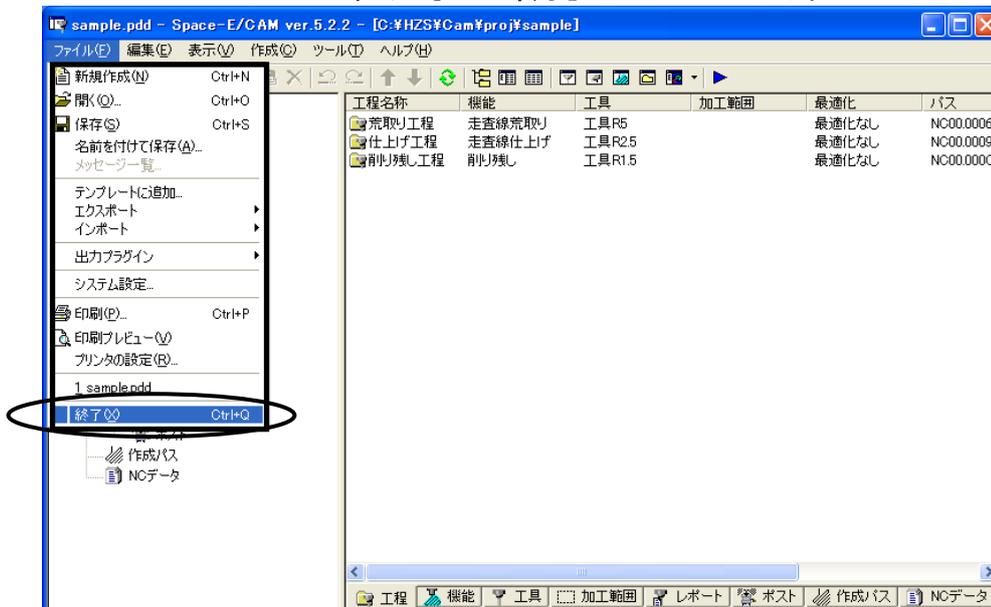
- ・Space-E/Modelerの補助コマンドの中から〈ツール/CAM起動（加工工程設計）〉をクリックします（ワイヤ放電加工が既に起動されている場合は先に終了してください）。



### ●標準・穴あけ加工の終了

標準・穴あけ加工の終了方法について説明します。

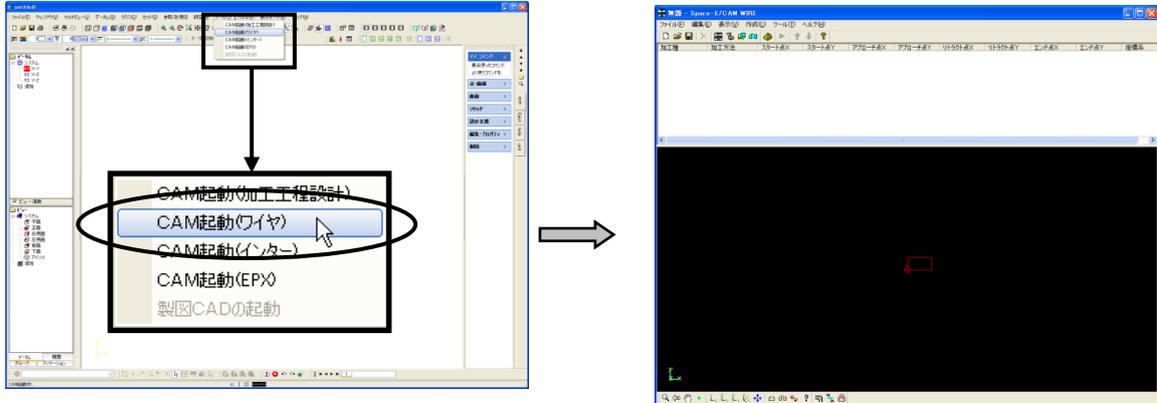
- ・メインウィンドウの「ファイル」→「終了」をクリックします。



## ●ワイヤ放電加工の起動

ワイヤ放電加工の起動について説明します。

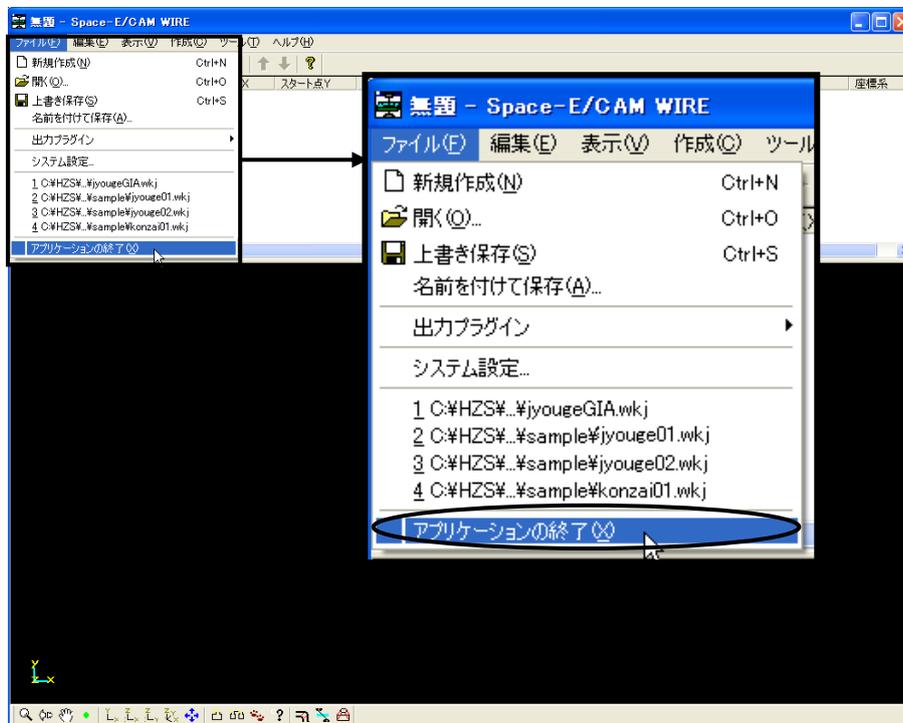
- ・Space-E/Modelerの補助コマンドの中から「ツール/CAM起動(ワイヤ)」をクリックします(標準・穴あけ加工が既に起動されている場合は先に終了してください)。



## ●ワイヤ放電加工の終了

ワイヤ放電加工の終了について説明します。

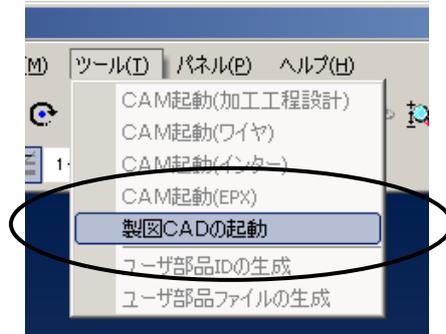
- ・メインウィンドウの「ファイル」→「アプリケーションの終了」をクリックします。



## 図面化コマンドの起動と終了

### ●図面化コマンドの起動

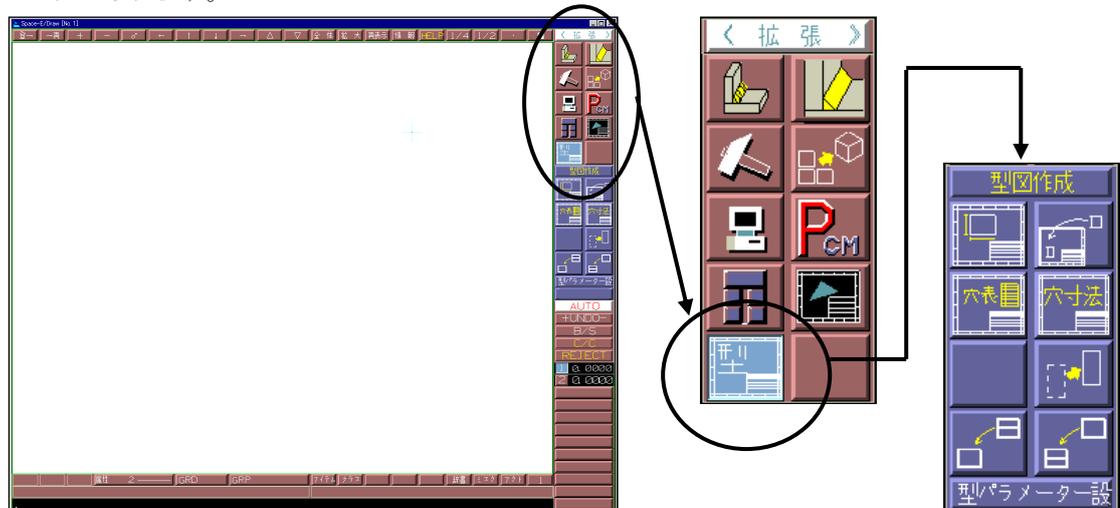
*Space-E/Modeler*のドラフティングアレンジ機能から、*Space-E/Draw*にデータを渡します。補助コマンドメニューから〈ツール／製図CADの起動〉を選択します。



※*Space-E/Modeler*をインストールしてから、*Space-E/Draw*をインストールした場合は、ここで起動できません。対策について、[付録4\) Space-E/ModelerがSpace-E/Drawより先にインストールされた際の対策](#)をご参照ください。

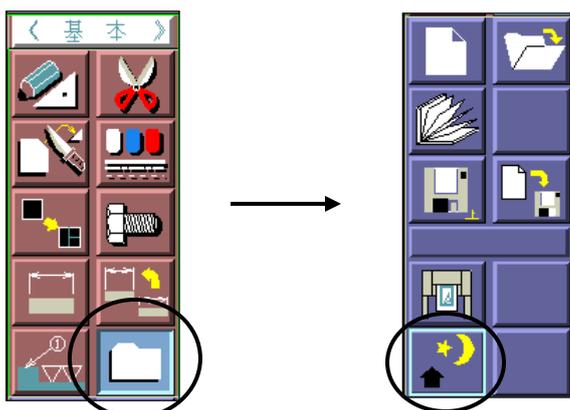
*Space-E/Draw*が起動されます。

メインメニューを《拡張》にします。小分類メニュー《型図作成》に*Space-E/Mold*用の図面化コマンドがあります。



### ●図面化コマンドの終了

メインメニューを《基本》に変更し、《ファイル／終了》を選択します。



## Space-E/IGESの起動と終了

Space-E/IGESの実行方法について説明します。

### ●Space-E → IGES変換

最初にmdzファイルをIGESファイルに変換します。

#### <起動>

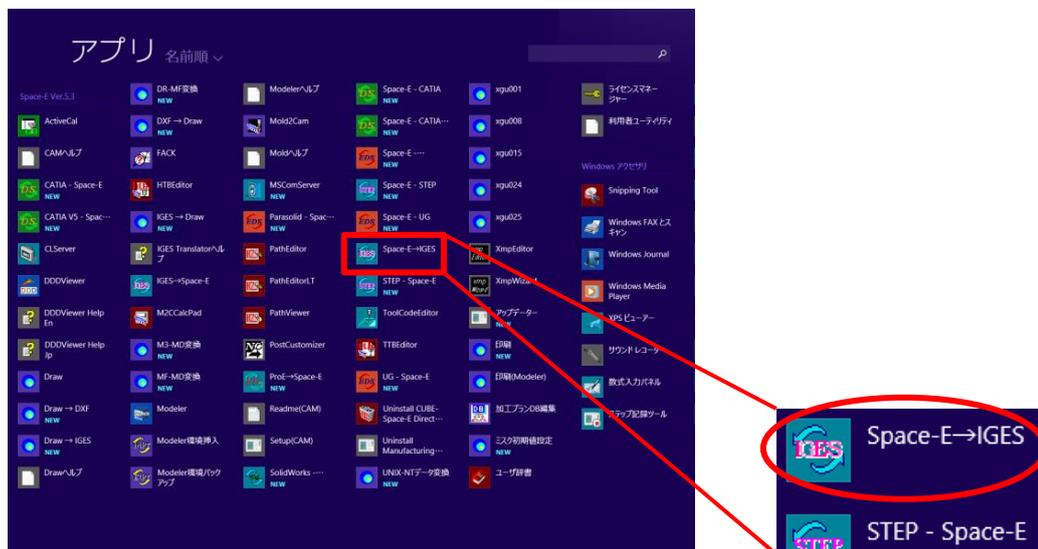
- ・ [Space-E→IGES] を起動します。

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

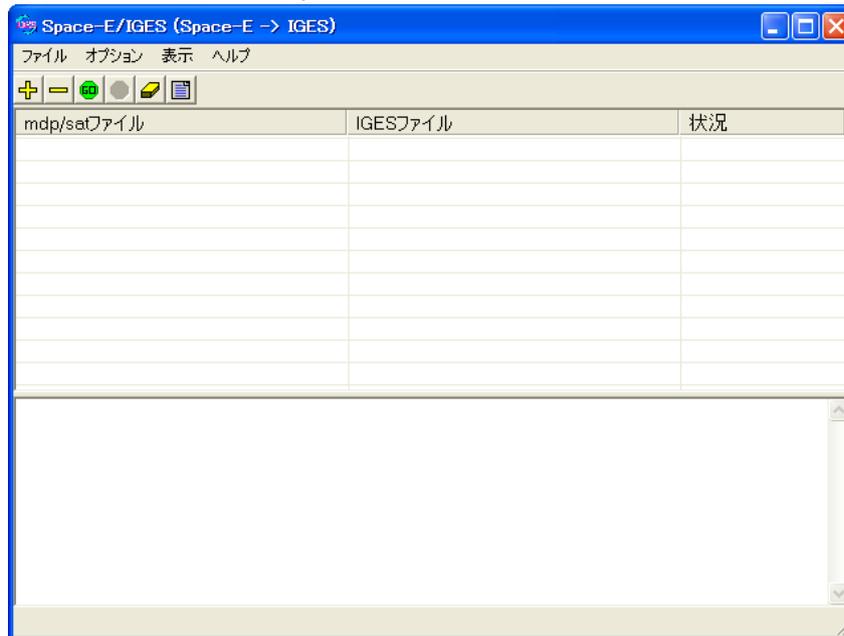


【Windows8、Windows8.1の場合】

アプリ画面から起動します。

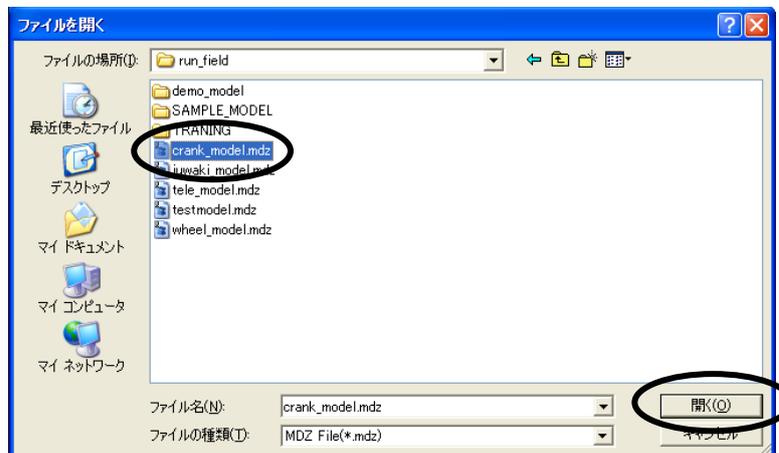


- ・メインウィンドウが表示されます。

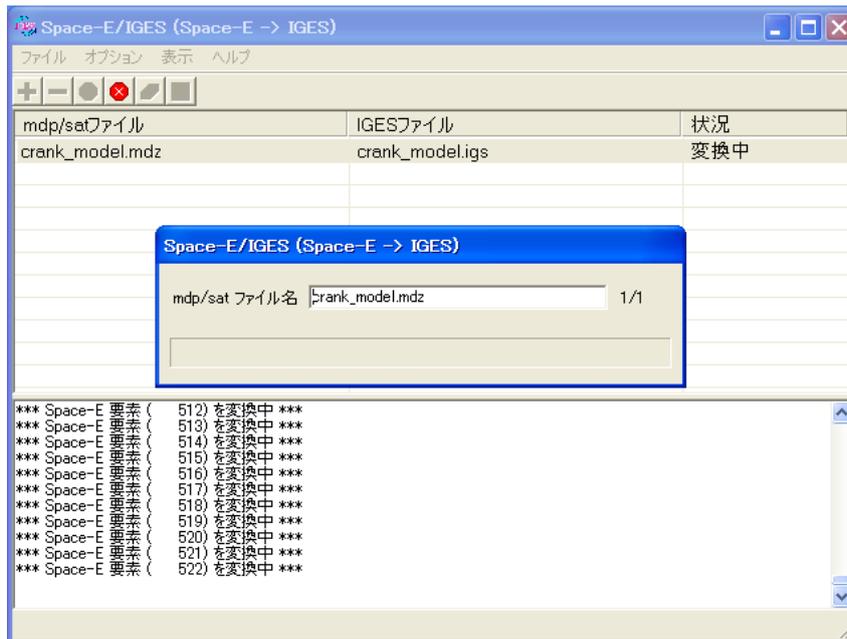


- ・「開く」アイコン  をクリックします。
- ・ファイルを開くウィンドウが表示されます。
- ・「crank\_model.mdz」を選択し、「開く」をクリックします。

【注意】 crank\_model.mdz はインストールドライブ:¥HZS¥Modeler¥run\_field のフォルダ内に存在します。

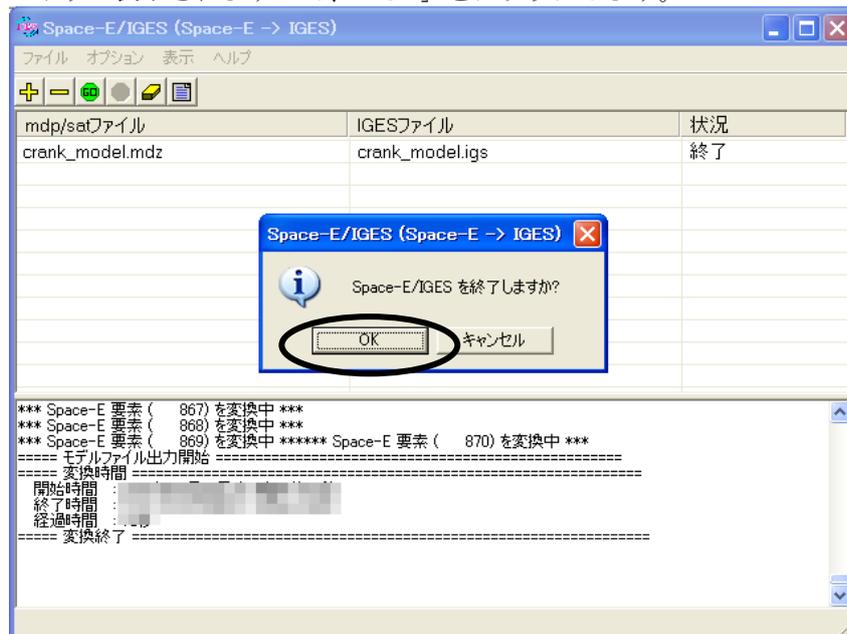


- ・「ファイル」→「実行」を選択、または「変換の実行」アイコン  をクリックすると、変換が開始されます。



### <変換の終了>

- ・ 変換が終了したら、「ファイル」→「Space-E/IGESの終了」をクリックします。
- ・ 確認ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックします。



これでIGESファイルを作成することができました。

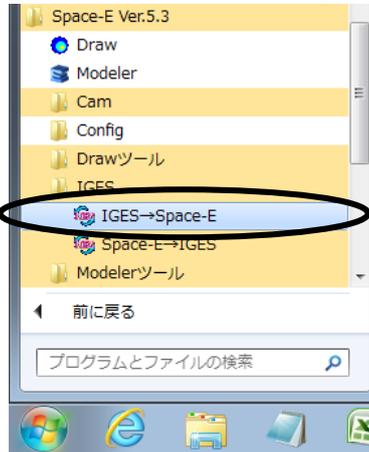
## ●IGES → Space-E変換

次に、作成したIGESファイルをmdp ファイルに変換します。

### <起動>

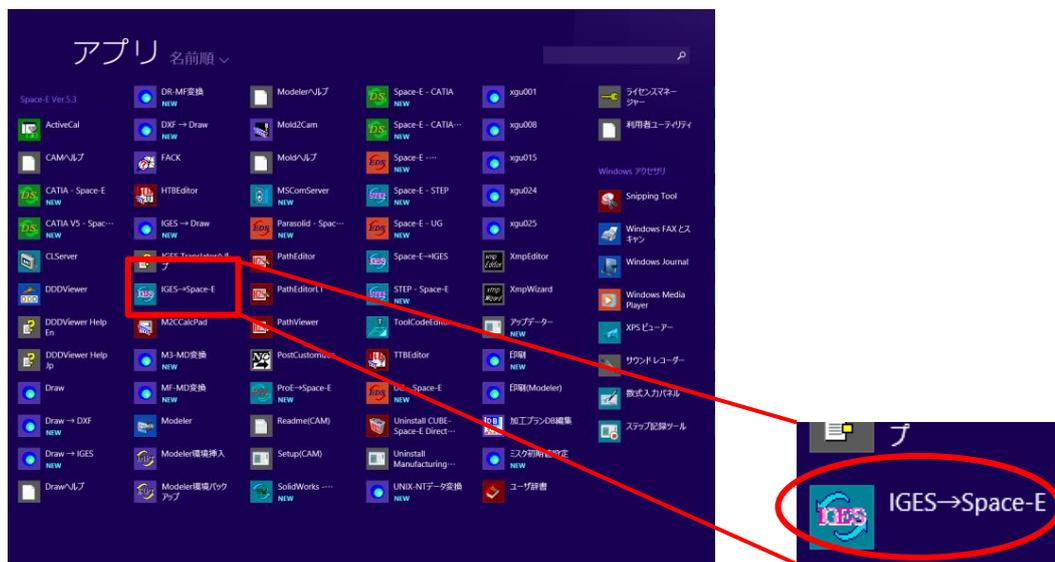
- ・ [IGES→Space-E]を起動します。

【WindowsXP、Windows 7 の場合】

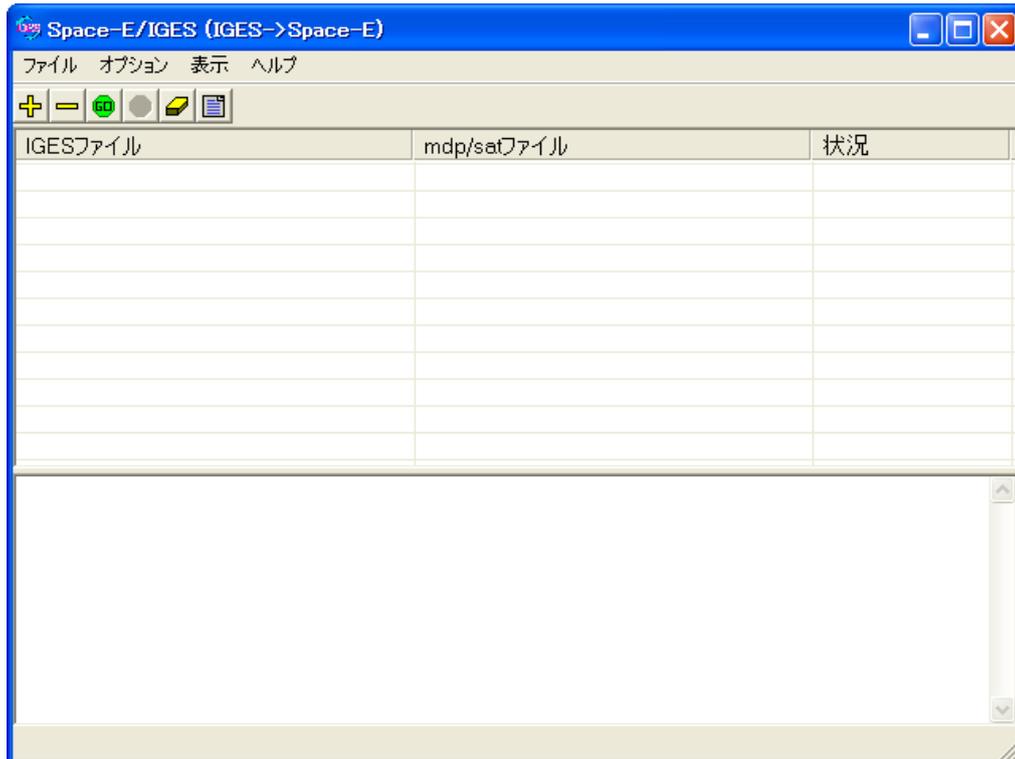


【Windows8、Windows8.1の場合】

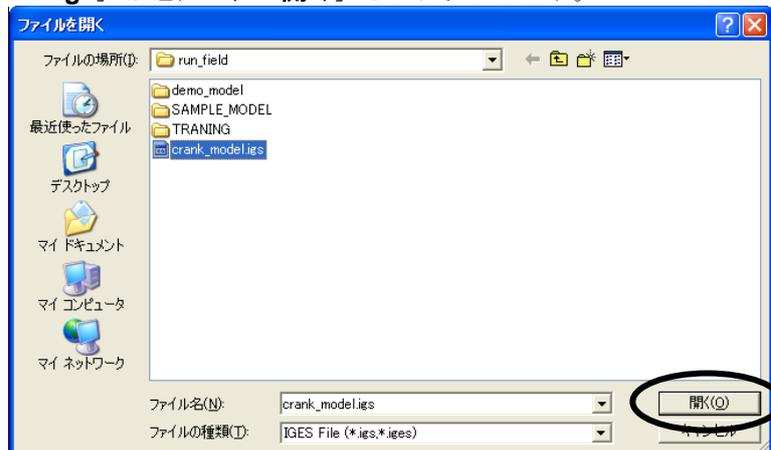
アプリ画面から起動します。



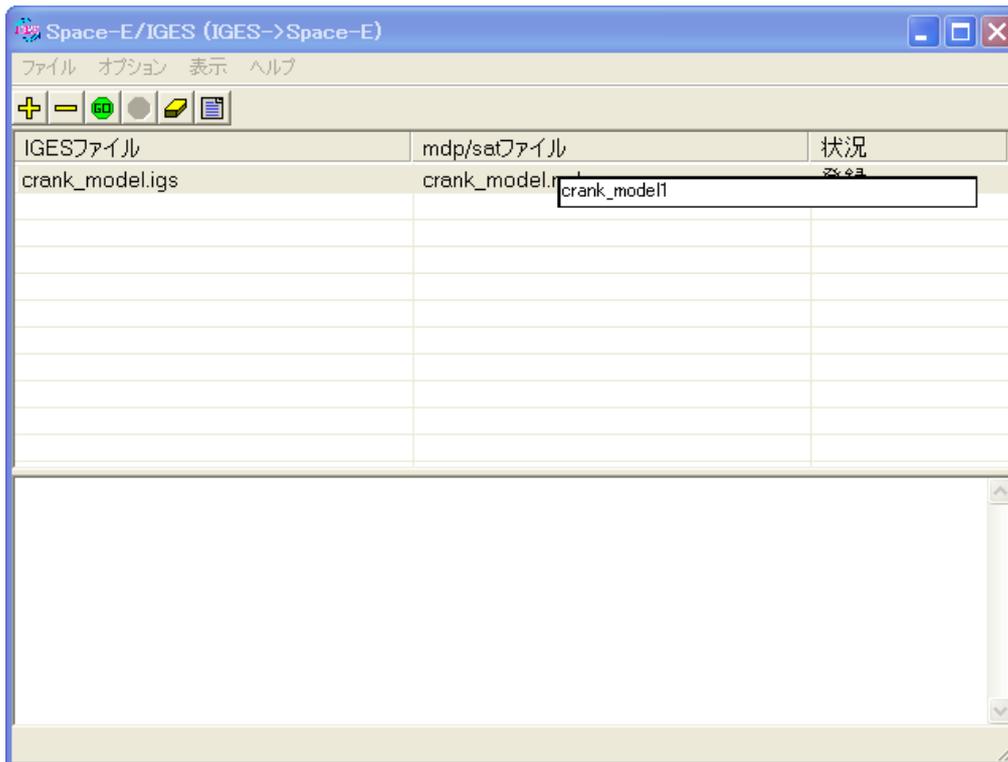
- ・メインウィンドウが表示されます。



- ・「開く」アイコン  をクリックします。
- ・ファイルを開くウィンドウが表示されます。
- ・「**crank\_model.igs**」を選択し、「開く」をクリックします。

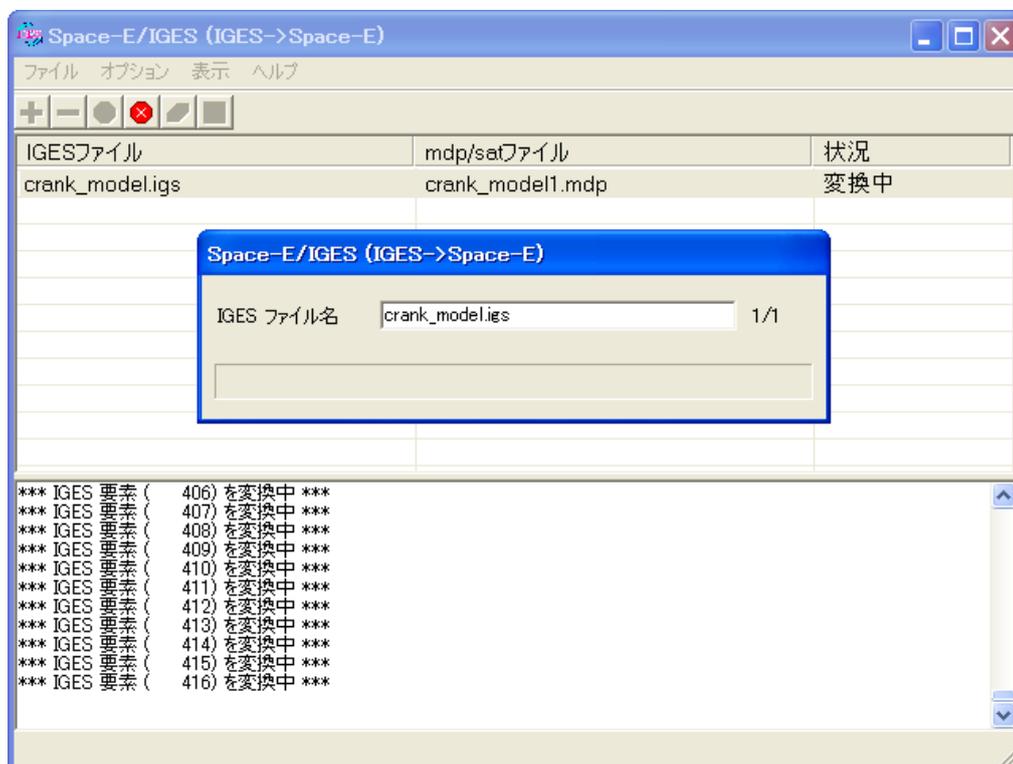


- ・「mdp/satファイル」フィールドをダブルクリックし、モデル名称を *crank\_model1* に変更します。
- ・[Enter] キーを押します。



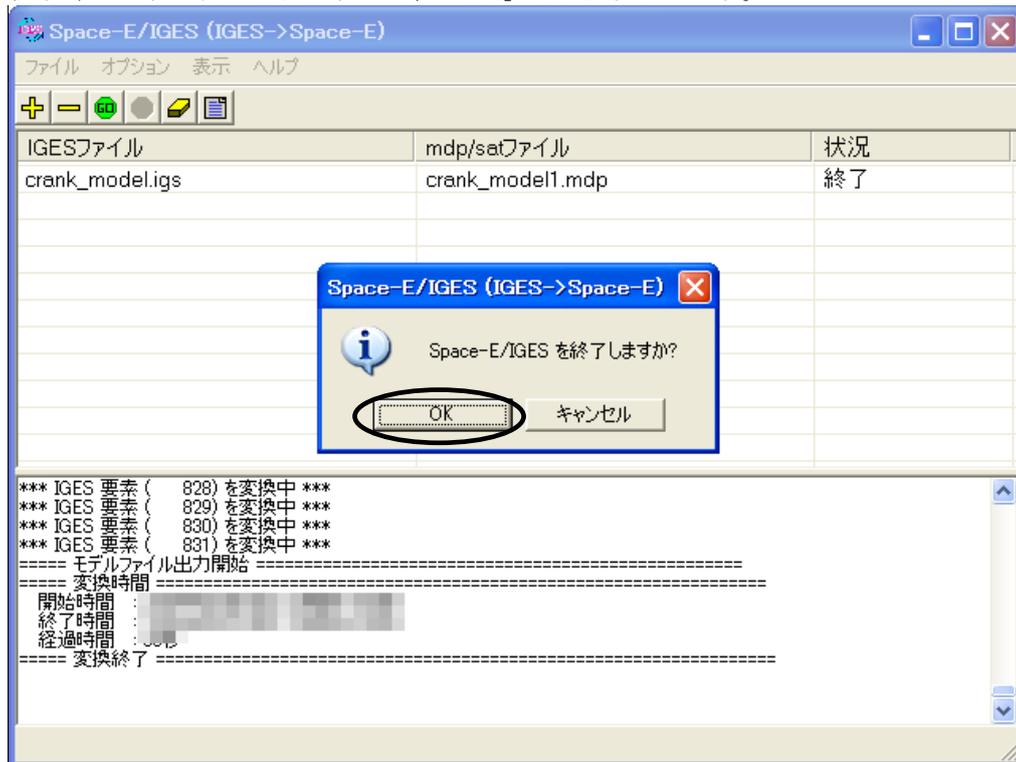
【注意】IGESファイル「*crank\_model.igs*」はSpace-E → IGESで作成したファイルを利用します。

- ・「ファイル」→「実行」をクリック、または「変換の実行」アイコン  をクリックすると、変換が開始されます。



**<変換の終了>**

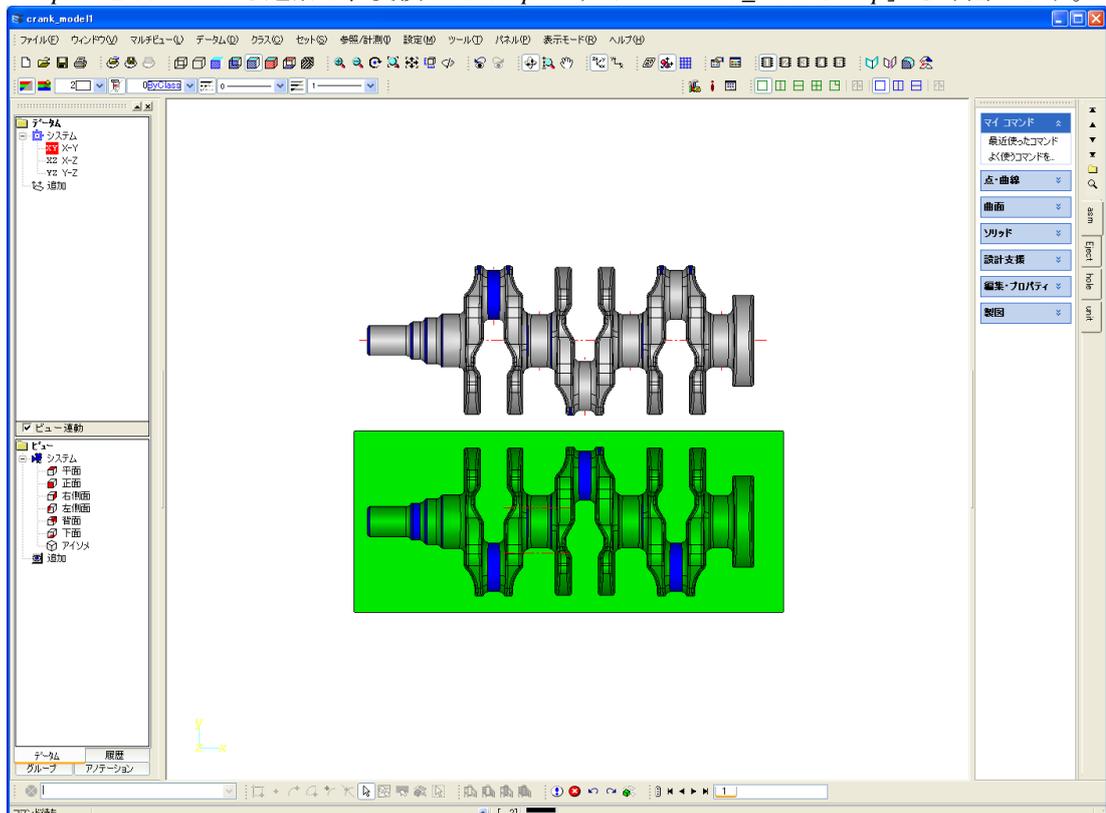
- ・ 変換が終了したら、「ファイル」→「Space-E/IGESの終了」をクリックします。
- ・ 確認ウィンドウが表示されますので、「OK」をクリックします。



これで *mdp* ファイルを作成することができました。

変換した *mdp* ファイルを *Space-E/Modeler* で確認します。

- ・ *Space-E/Modeler* を起動し、変換した *mdp* ファイル「*crank\_model1.mdp*」を呼び出します。

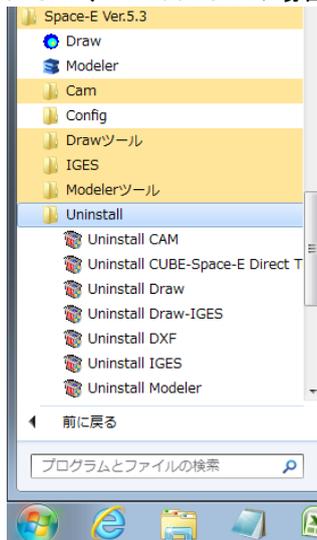


## 付録1) Space-Eのアンインストール

Space-Eのアンインストール方法について説明します。アンインストールは各コンポーネントごとに行います。

- ・ AdministratorまたはAdmin権限を持つユーザでログオンします。
- ・ アンインストールするコンポーネントを起動します。
- ・ コンポーネントをアンインストール後、PCを再起動します。

### 【WindowsXP、Windows 7 の場合】



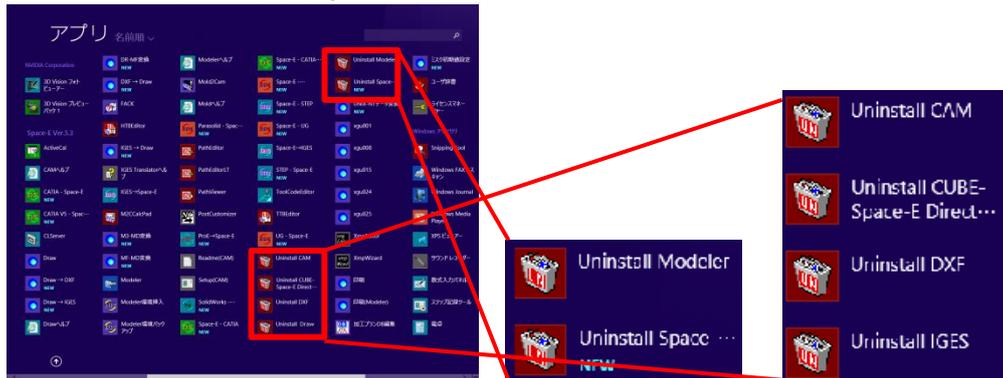
例) Space-Eのアンインストールコンポーネント

### 【注意】

- ・ 「CAM」をアンインストールすると、SolidCAMもアンインストールされます。
- ・ 「CUBE-Space-E Direct Translator」をアンインストールすると、Space-E上でDXF変換ができなくなります。

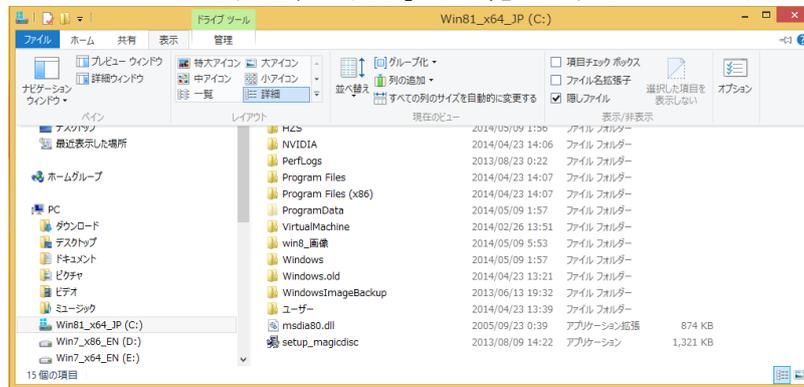
【Windows8、Windows8.1の場合】

アプリ画面から起動します。



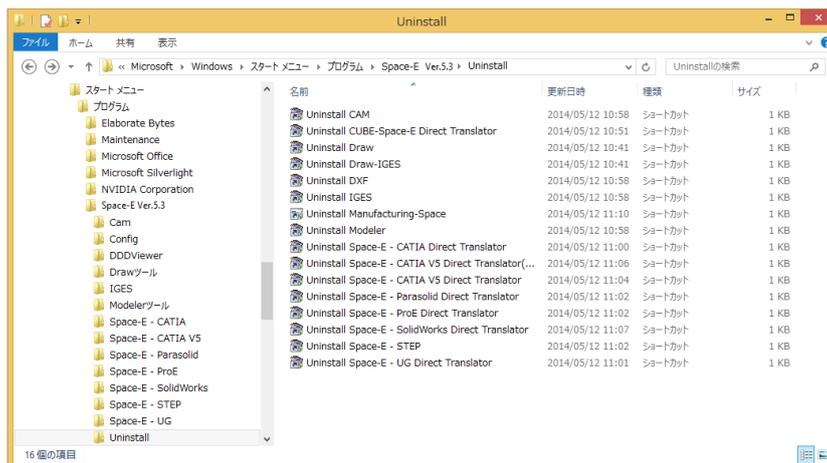
アプリ画面に[Uninstall]アイコンが無い場合

エクスプローラを開き、「表示」より隠しファイルのチェックを付けます。



下記のフォルダーに移動します。

C:\ProgramData\Microsoft\Windows\スタートメニュー\プログラム\Space-E Ver.5.3\Uninstall



- アンインストールするコンポーネントを選択し、1つずつアンインストールを行います。
- 以上のコンポーネントをアンインストールした後は、必ず再起動してください。

◆ バージョンアップ時のアンインストールについて

Space-E Ver.4.7~ Space-E Ver.5.2.2はバージョンアップ時に自動的にアンインストールされます。  
Space-E Ver.4.6以前の旧バージョンから新バージョンへバージョンアップする場合は、以下のコンポーネントをアンインストールしてください。

ただし、Space-E Ver.2.3以前のバージョンをお使いの場合は、アンインストールするコンポーネントが異なります。下記の「◆ Space-E Ver.2.3以前のバージョンのアンインストール」を参照ください。

- Modeler
- CAM
- IGES
- DXF
- CUBE-Space-E Direct Translator

アンインストール後は、必ずPCを再起動してください。

◆ Space-E Ver.2.3以前のバージョンのアンインストール

Space-E Ver.2.3以前のバージョンから新バージョンへバージョンアップする場合は、以下のコンポーネントをアンインストールしてください。

- Modeler
- CAM
- IGES
- DXF
- CUBE-Space-E Direct Translator
- Exceed6113

アンインストール後は、必ずPCを再起動してください。

【注意】

Space-E/Draw Ver.1.2以前をお使いの場合は、Exceed6113はアンインストールしないでください。  
(Space-E/Drawが動作しなくなります)

## 付録2) Space-EシリーズをWindows XP ServicePack 3以降で動作させる際の注意点

### 1. 概要

Windows XPのServicePack3（以下XP-SP3）以降では、セキュリティ強化の為の機能追加が多く含まれています。このため、Space-E Ver.5.3(Mold Ver.5.3,SolidCAM Ver.5.3)およびSpace-E/Draw Ver.1.9をXP-SP3以降で実行する場合、XP-SP3固有の操作が必要になる場合があります。

以下の手順を参考に操作をお願い致します。

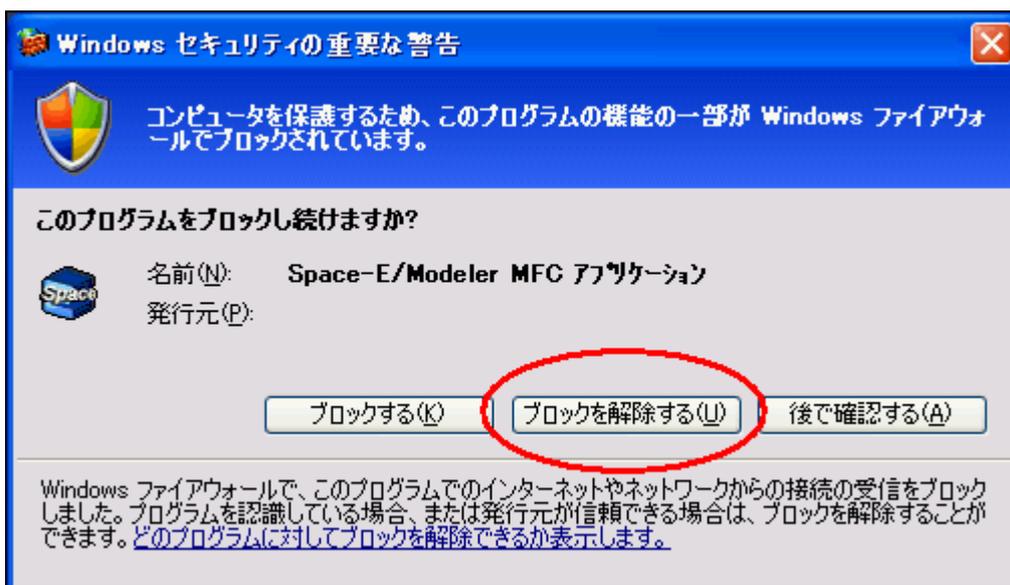
### 2. 製品共通

#### 2.1.Windows ファイアウォールによる影響

XP-SP3はデフォルトでWindows ファイアウォールが有効になります。この機能により、Space-Eのいくつかのモジュールが影響（モジュール間の通信が遮断される）を受け、正常に動作しない場合があります。

この影響を回避するためには、下記手順でSpace-Eモジュールを例外リストに登録していただく必要があります。

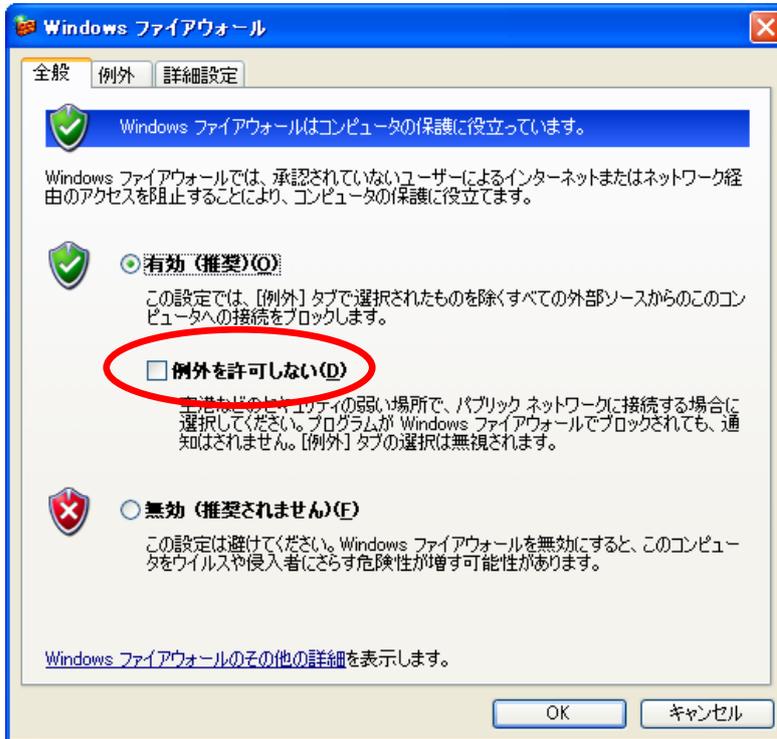
Space-E/Modeler、Draw起動時、各種CAMモジュール起動(スタートアップ含む)・計算実行時にこの操作が必要です。



Space-EモジュールがWindows ファイアウォールにブロックされた時のダイアログ  
(Space-E/Modeler起動時の場合)

このダイアログが表示された場合は、「ブロックを解除する(U)」をクリックして、該当モジュールを例外リストに登録します。この操作により、該当モジュールが例外リストに登録され、次回からこのダイアログは表示されなくなります。

注意) 「コントロールパネル」の「Windowsファイアウォール」の「全般」パネルの「例外を許可しない」にチェックが入っていると上記操作は有効になりません (XP-SP3インストールのデフォルトではチェックは入りません)。



## 2.2. Internet Explorerのセキュリティ強化による影響

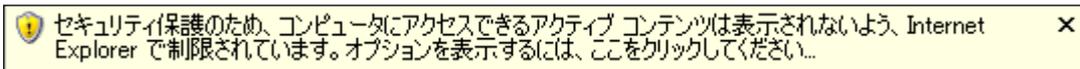
XP-SP3では、Internet Explorer(以下IE)に対して各種の機能変更が行われていますが、その中にhtmlファイルのアクティブコンテンツと呼ばれる機能に対する実行制限が加わっています。この機能により、IEを使用して、オンラインマニュアル、CAMWebまたはCatalogWindowの一部テンプレート使用時の結果を閲覧する場合に影響があります。

IEでドロップダウンリストによるページ切り替えなどを含むページを閲覧する場合、次のような警告が表示され、ドロップダウンリストによるページ切り替えができない場合があります。

ドロップダウンリストによるページ切り替えの例



IEの警告表示



この場合は、指示のように警告表示の領域をクリックして、表示されるダイアログから「ブロックされているコンテンツを許可(A)」をクリックしてください。これによってページの切替えが可能になります。

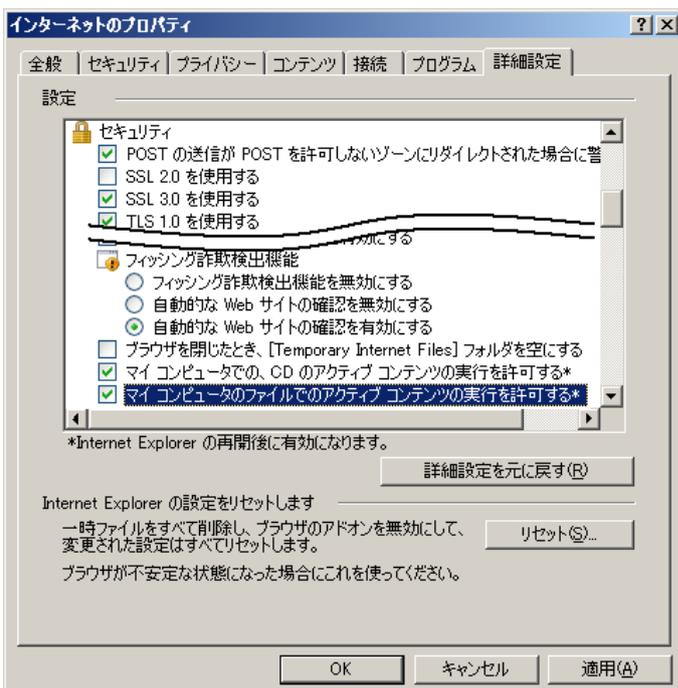


または、次の手順によってIEのインターネットオプションの設定を変更してください。この設定後は、閲覧時毎の操作は必要なくなります。但し、Space-E以外のファイルに対しても「アクティブコンテンツの実行」が可能になりますのでご注意ください。

IEの「ツール」→「インターネットオプション(O)」でインターネットオプションのダイアログが表示されます。



表示されたダイアログの「詳細設定」→「セキュリティ」→「マイコンピュータでのファイルのアクティブコンテンツの実行を許可する」にチェックをつけてください。

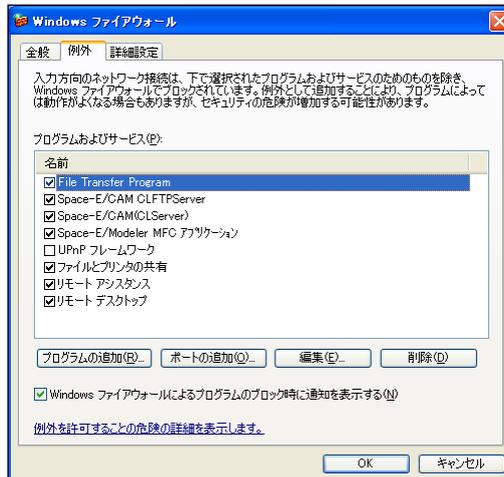


### 3. Space-E/Modeler

前述のWindowsファイアウォールとInternet Explorerのセキュリティ強化による影響以外は特にありません。

### 4. Space-E/CAM(CAM Hybrid2D、 SolidCAM含む)

「コントロールパネル」の「Windowsファイアウォール」の「例外」パネルを開き、「File Transfer Program」のチェックが外れていないか確認してください。チェックが外れていると、Windows XP SP3のマシンへCLサーバ計算エントリーしたときにCAM計算ができずに異常終了となります。もし、チェックがされていない場合、チェックを指定してください。



<図1 Windowsファイアウォールのパネル図>

また、「例外」パネルに「File Transfer Program」がない場合、CAM計算実行時に以下のようなパネルが現れますので、「ブロックを解除する」を指定してください。



<図2 Windowsセキュリティの重要な警告のパネル>

### 5. Space-E/Mold (CatalogWindow含む)

前述のWindowsファイアウォールとInternet Explorerのセキュリティ強化による影響の他に、CatalogWindowを起動したときにエラーが発生する場合があります。

Space-E/Mold Ver.5.3のインストールは、必ずインストールガイドの手順に従ってインストールを行ってください。

### 6. Space-E/Draw

前述のWindowsファイアウォールとInternet Explorerのセキュリティ強化による影響以外は特にありません。

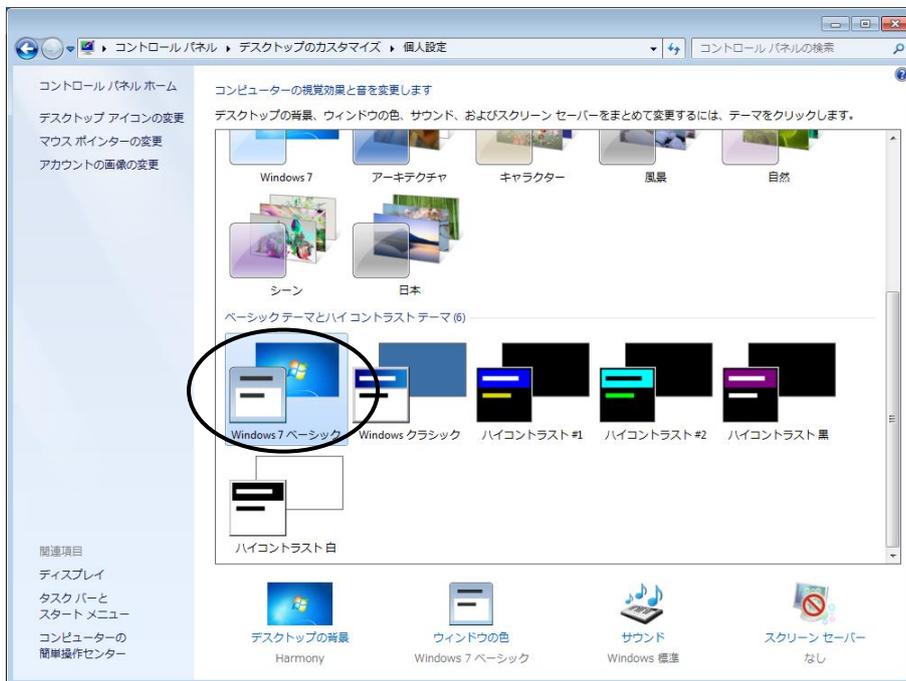
## 付録3) Space-E を Windows 7 にインストールする際の注意点

Space-E を Windows 7 にインストールする場合、Space-E のインストール前に Windows 7 固有の設定が必要になります。以下の手順を参考に設定をお願い致します。

- ・ [スタート] – [コントロールパネル] をクリックします。
- ・ コントロールパネルから「デスクトップのカスタマイズ」の「テーマの変更」をクリックします。



- ・ 「個人設定」パネルが表示されます。「ベーシックテーマとハイコントラストテーマ」の中から「Windows 7 ベーシック」を選択し、[OK] をクリックします。



---

## 付録4) Space-E/ModelerがSpace-E/Drawより先に インストールされた際の対策

---

*Space-E/Modeler*が*Space-E/Draw*よりお先にインストールされた場合は、*Modeler*から*Draw*を起動することができません。このような場合は、*Space-E*のインストール先の¥HZS¥Mold¥Draw下のフォルダをすべてコピーして、¥HZS¥Drawに上書きしてください。

*Space-E Version 5.3*のインストールDVDに対して以下のウイルスチェックプログラムを使用してウイルスに感染していないことを確認しています。

また、インストール後のコンピュータに対しても同様の確認作業を行いウイルスに感染していないことを確認しています。

マカフィー株式会社

*McAfeeVirusScan Enterprise Version 8.7.0i*

2014/05/07付けウイルス定義ファイル7431

スキャンエンジン(32ビット) 5600.1067

**Space-E/Modeler** Ver.5.3

**Space-E/Mold** Ver.5.3

**Space-E/CAM** Ver.5.3

**Space-E/CAM Hybrid2D** Ver.5.3

インストールガイド

---

初版発行 2014年05月12日

発行 株式会社NTTデータエンジニアリングシステムズ

〒144-8601 東京都大田区西蒲田7-37-10

---